

第2款 総務費

予算現額及び決算額欄中（ ）内の数字は、歳入歳出決算事項別明細書の当該目に係る額を示す。

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
1 総務管理費	円	円											
1 一般管理費 (P68)	66,369,000 (6,005,986,600)	62,793,834 (5,950,890,078)	陝西省友好提携35周年 記念事業 (国際課)	<p>1 施策の趣旨等 府と中華人民共和国陝西省との友好提携35周年を記念して、訪問団の相互派遣等を行い、経済・文化等の分野での交流拡大を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 陝西省訪問団の受入 陝西省から訪問団を受け入れ、観光セミナーや文化交流イベント等を実施し、府民の陝西省への理解を深めた。 期間：平成30年9月5日～8日（4日間） 交流事業参加者数：528人</p> <p>(2) 府訪問団の派遣 知事を団長とする府訪問団を派遣し、交流協議や経済特区の視察を通じて、今後の交流促進に向けて、相互理解を深めた。 期間：平成30年11月25日～27日（3日間）</p> <p>(3) 府内高校生の派遣 府内高校生を陝西省に派遣し、現地の高校・大学訪問やホームステイを通じて、同世代の交流を行い、異文化理解を深めた。 期間：平成30年12月21日～26日（6日間） 派遣者数：府内高校生9人</p> <p>3 執行額 2,999,969円</p>									
			留学生総合支援事業 (国際課) (総合就業支援室)	<p>1 施策の趣旨等 海外から留学生を積極的に受け入れ、彼等の知識や経験を地域の国際化・活性化に活かすため、オール京都で留学生を誘致・支援する。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>府内の留学生数</td> <td style="text-align: center;">10,000人</td> <td style="text-align: center;">9,568人</td> </tr> <tr> <td>留学生の就職内定者数</td> <td style="text-align: center;">330</td> <td style="text-align: center;">333</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 留学生スタディ京都ネットワーク事業費 ア 京都留学に関する総合ポータルサイトの運営</p>	指 標	目 標	実 績	府内の留学生数	10,000人	9,568人	留学生の就職内定者数	330	333
指 標	目 標	実 績											
府内の留学生数	10,000人	9,568人											
留学生の就職内定者数	330	333											

科 目	予 算 現 額 円	決 算 額 円	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
				<p>学校情報や生活情報等、京都地域の留学に関する情報を一元化した総合的なポータルサイト「STUDY KYOTO」を運営した。</p> <p>対応言語 7言語（英語、中国語（簡体字、繁体字）、ハングル、タイ語、ベトナム語、日本語）</p> <p>アクセス件数 165,357件（平成30年度末現在）</p> <p>イ 留学コーディネータの配置 京都留学に関する相談・問合せへの対応や関係機関とのコーディネートを実施した。</p> <p>ウ 海外での留学フェア等の開催・出展 関係機関との連携による京都留学フェアの開催や独立行政法人日本学生支援機構が開催する日本留学フェアへのブース出展等を通じて、現地の学生、教育機関及び留学関連事業者等への京都留学情報の発信等を行った。</p> <p>京都留学フェア等の開催 4 箇国・地域 5 会場 日本留学フェアへの出展 3 6</p> <p>エ 留学生向け有給インターンシップの実施 派遣留学生数 35人 派遣企業数 26社</p> <p>オ 留学生のための住宅情報サイトの運営</p> <p>カ 京都ジョブパークでの留学生の就職支援 留学生向け就職・生活相談件数 2,443件 就職活動セミナー開催回数 30回 参加留学生数 341人 企業交流会開催回数 15 266 参加企業数 64社</p> <p>(2) 大学のまち京都留学生応援事業</p> <p>ア きょうと留学生宿舎グループ事業 きょうと留学生オリエンテーションセンター（きょうと留学生ハウス・さつき寮・みずき寮）において、入居留学生に対する様々な交流支援事業や生活ルールの指導等を行うことにより、日本で自立した生活ができるよう支援した。</p> <p>きょうと留学生ハウス（上京区） 38室 さつき寮（上京区） 45 みずき寮（左京区） 44</p> <p>イ きょうと留学生日本文化体験事業 京都に来られた留学生が、様々な京都の伝統文化・芸能等を体験することにより、「親京都派」として、その経験を地域の国際化・活性化に活かすため、文化体験等の受講を支援した。</p> <p>(ア) 留学生日本文化マスター養成コース 参加留学生数 16人</p> <p>(イ) 京都まるごと体験コース 参加留学生数 20人</p>

			<p>ウ 留学生府内就労促進事業  留学生の府内就労を促進し、中小企業等における人手不足解消にも寄与するため、「留学生ジョブ博」を開催するとともに、ビジネス場面で必要とされる日本語能力の養成研修等を実施した。</p> <p>(ア) 留学生ジョブ博の開催  参加留学生数 53人 参加企業数 29社</p> <p>(イ) 日本語能力養成研修の実施  受講留学生数 105人</p> <p>3 執行額 30,594,832円  (うち負担金 4,746,946円)</p>						
		<p>府有施設ブロック塀等  緊急安全対策事業  (国際課)</p>	<p>1 施策の趣旨等  府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況  施設数 1施設</p> <p>3 執行額 1,242,000円  (工事請負費)</p>						
		<p>きょうと地域創生・地域力拡大事業  (企画参事)</p>	<p>1 施策の趣旨等  「きょうと地域創生府民会議」が地域創生を盛り上げるために実施する「あすのKyoto・地域創生フェスタ」や「きょうと地域力UP大作戦」の開催支援等により、地域創生の機運醸成及び地域力のさらなる推進を図る。</p> <p>指標：あすのKyoto・地域創生フェスタ参加団体数及び参加者数</p> <table border="0"> <tr> <td>参加団体数</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>目標：60団体以上</td> <td>15,000人</td> </tr> <tr> <td>実績：67団体</td> <td>約13,000</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「あすのKyoto・地域創生フェスタ」の開催  開催日 平成30年11月23日  場 所 京都府立植物園  参加者 約13,000人</p> <p>(2) きょうと地域創生府民会議協賛事業  府民会議構成団体が実施する地域創生に関するイベントに対する支援 28団体</p>	参加団体数	参加者数	目標：60団体以上	15,000人	実績：67団体	約13,000
参加団体数	参加者数								
目標：60団体以上	15,000人								
実績：67団体	約13,000								

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	防犯まちづくり推進事業 (安心・安全まちづくり推進課) 警 察 本 部	<p>広域振興局管内で実施するイベント（きょうと地域力UP大作戦）に対する支援 4団体</p> <p>(3) きょうと地域力UP大作戦            京都市域や各広域振興局管内において、精力的に地域活動に取り組む団体の活動をPRするイベントを実施            参加団体 72団体</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">10,000,000円 (補助金)</span></p> <p>1 施策の趣旨等            様々な地域団体やボランティア団体等との協働による地域防犯活動を実施し、犯罪のないまちづくりを総合的に推進する。            指標：刑法犯認知件数 目標：18,603件以下 実績：16,821件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) ビューティフル・ウィンドウズ運動            小さな犯罪の芽を摘むことで、大きな犯罪を抑止することを目的とし、地域との協働により、花を植えるなどまち全体をきれいにすることで犯罪の起こりにくい環境づくりを行った。            期 間 平成30年5月20日～平成31年3月23日（全18回）            場 所 鉄道駅周辺 等            協働団体 各府民協働防犯ステーション他 延べ76団体 参加者延べ735人</p> <p>(2) 地域安全マップづくり講習会            子ども達自身が、どのような場所で犯罪が起こりやすいか理解し、犯罪被害を回避する能力を身に付けるための地域安全マップづくりの講習会を開催した。            期 間 平成30年5月15日～平成31年1月31日（全9回）            場 所 京都市立養徳小学校他8校            参加者 延べ560人</p> <p>(3) 子ども・地域安全見守り隊支援            地域住民による自主的な防犯活動に必要な資機材の交付及びボランティア保険の加入により子どもの安全確保と地域防犯力の向上を図った。            交付団体 地域の子ども見守り隊 167団体</p> <p>(4) 府民防犯旬間啓発活動            犯罪のない安心・安全なまちづくりの機運を醸成するため、府内各地域で広報啓発活動を実施することで、府民一人ひとりの防犯意識の向上と犯罪を発生させない環境づくりを推進した。</p>

			<p>犯罪被害者等支援活動 推進事業 (安心・安全まち づくり推進課)</p>	<p>期 間 平成30年7月10日～20日 場 所 商業施設、鉄道駅前等13箇所 参加者 3,800人</p> <p>(5)「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」の改定 平成30年度末で計画期間が満了することから、これまでの取組成果を踏まえつつ、新たに再犯防止施策の推進を規定する等、全面改定を行った。</p> <p>3 執 行 額 14,672,185円</p> <p>1 施策の趣旨等 犯罪被害者等に対する支援の充実と社会全体で犯罪被害者等をサポートする環境づくりを図る。 指標：犯罪被害者等からの相談件数 目標：1,000件以上 実績：1,031件</p> <p>2 施策の実施状況 京都府犯罪被害者サポートチームを運用するとともに、公益社団法人京都犯罪被害者支援センター及び同ほくぶ相談室が実施する相談・被害者支援事業を支援することで、社会全体で犯罪被害者等をサポートする環境づくりを促進した。</p> <p>(1) 総合的な被害者支援のための犯罪被害者サポートチームの運用 犯罪被害者支援コーディネーターの配置 3人 相談件数 39件</p> <p>(2) 公益社団法人京都犯罪被害者支援センターへの助成 フリーダイヤルによる電話相談や臨床心理士によるカウンセリングに要する経費に対し、助成した。 フリーダイヤル相談件数 522件（うちほくぶ相談室34件） カウンセリング件数 96</p> <p>(3) 中高生を対象とした「いのちを考える教室」の開催 期間 平成30年7月3日～平成31年3月12日（全16回） 場所 舞鶴市立城南中学校他15校</p> <p>3 執 行 額 3,284,848円 (うち補助金 2,580,000円)</p>
<p>2 人事管理費 (P68)</p>	<p>13,793,000 (6,503,704,323)</p>	<p>9,701,931 (6,404,422,885) 決算額の財源 内訳</p>	<p>ベンチャー型職員育成 事業 (職員総務課 会計課 企画統計課 地球温暖化対策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府民視点に立ち、府民のために課題にチャレンジする職員を育成し、優れた施策提案を行うとともに、事業推進を加速化し、職員の自立心、モチベーションの向上を図る。</p>



				<p>(2) 府政広報テレビ「京都ライブ！」の制作・放送 知事自らが出演し、府政を府民へタイムリーに伝えるためのテレビ番組を制作し、放送した。 放送期間・時間 平成30年10月～平成31年3月・月1回30分 放送回数 6回</p> <p>3 執行額 17,801,802円 (うち委託料 15,924,600円)</p>															
7 財産管理費 (P72)	<p>389,208,000 (1,291,311,696)</p> <p>翌年度への繰越 事業費繰越額 13,819,680</p> <p>(新行政棟・文化 庁移転施設整備 費)</p>	<p>319,981,804 (1,216,799,751)</p> <p>決算額の財源 内訳</p> <p>府債 138,000,000</p> <p>一般財源 181,981,804</p>	<p>新行政棟・文化庁移転 施設整備事業 (府有資産活用課) (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 文化庁移転に向け、新行政棟建設及び現京都府警察本部本館改修等を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 新行政棟・文化庁移転施設整備 新行政棟建設及び現京都府警察本部本館改修に係る基本設計、埋蔵文化財調査等を実施した。 (2) 府庁第3号館の解体等 府庁第3号館の解体設計を実施し工事に着手するとともに、仮移転先である京都産業大学むすびわざ館等の環境整備等を実施した。</p> <p>3 執行額 319,981,804円 (うち委託料 118,781,100円) 工事請負費 154,021,992円)</p>															
8 文化芸術費 (P72)	<p>385,671,000 (793,872,000)</p>	<p>370,719,977 (777,830,658)</p> <p>決算額の財源 内訳</p> <p>国庫支出金 76,554,854</p> <p>寄付金 2,000,000</p> <p>繰入金 61,766,460</p> <p>府債 105,000,000</p> <p>一般財源 125,398,663</p>	<p>「文化のみやこ・京都」 推進事業 (文化政策室) (文化芸術課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 文化力による京都の活性化のため、文化を継承し、新たな文化を創造する次世代の人づくりや地域文化の活用による個性豊かな地域づくりにより「文化のみやこ・京都」を一層推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都アートフリーマーケット出展者数</td> <td>300グループ</td> <td>250グループ</td> </tr> <tr> <td>〃 入場者数</td> <td>75,000人</td> <td>約62,700人</td> </tr> <tr> <td>京都文化ベンチャーコンペティション応募件数</td> <td>350件</td> <td>121件</td> </tr> <tr> <td>児童生徒等が学校等で体験する文化活動事業数</td> <td>80</td> <td>103</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 文化マーケットの創出 ア 文化マーケット創出事業 文化を活かした新たな産業創出や産業界と連携した新たな文化マーケットの創出のため、作家自らが販売等を行う見本市「ワールドアーティストフェア京都」や若手作家の選抜展覧会「Kyoto Art for Tomorrow 2019」等を実施した。</p>	指 標	目 標	実 績	京都アートフリーマーケット出展者数	300グループ	250グループ	〃 入場者数	75,000人	約62,700人	京都文化ベンチャーコンペティション応募件数	350件	121件	児童生徒等が学校等で体験する文化活動事業数	80	103
指 標	目 標	実 績																	
京都アートフリーマーケット出展者数	300グループ	250グループ																	
〃 入場者数	75,000人	約62,700人																	
京都文化ベンチャーコンペティション応募件数	350件	121件																	
児童生徒等が学校等で体験する文化活動事業数	80	103																	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																																												
	円	円		<p>(ア) ARTISTS' FAIR KYOTO 2019の開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: right;">入場者数</td> </tr> <tr> <td>京都文化博物館他</td> <td>平成31年 3月2日、3日</td> <td style="text-align: right;">5,512人</td> </tr> </table> <p>(イ) Kyoto Art for Tomorrow 2019-京都府新鋭選抜展-の開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: right;">入場者数</td> </tr> <tr> <td>京都文化博物館</td> <td>平成31年 1月19日～2月3日</td> <td style="text-align: right;">45,266人</td> </tr> </table> <p>(ウ) 京都アートラウンジの開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: right;">参加者数</td> </tr> <tr> <td>京都信用金庫本店他</td> <td>平成30年 7月19日～平成31年 3月1日</td> <td style="text-align: right;">543人</td> </tr> </table> <p>(エ) 京都文化ベンチャーコンペティションの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンペティションの実施</li> <li>  優秀提案 12件 (応募件数 121件)</li> <li>  サポートセミナー等 2回開催</li> <li>・前年度受賞者への支援 (起業や商品開発に向けた調整等)</li> </ul> <p>(オ) 京都アートフリーマーケットの開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">会 期</td> <td style="text-align: center;">出展者数</td> <td style="text-align: center;">入場者数</td> </tr> <tr> <td>京都文化博物館別館及び周辺</td> <td>平成30年 9月22日～24日</td> <td style="text-align: center;">125<small>グループ</small></td> <td style="text-align: right;">約35,400人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成31年 3月15日～17日</td> <td style="text-align: center;">125</td> <td style="text-align: right;">約27,300</td> </tr> </table> <p>イ ワールドアーティストフェアの展開</p> <p>ARTISTS' FAIR KYOTOとの連動企画として、企業とコラボした作品展示などによる誘客を促進した。</p> <p>(ア) ARTISTS' FAIR KYOTO連動企画</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: right;">入場者数</td> </tr> <tr> <td>スプリングバレーブルワリー京都他</td> <td>平成31年 2月1日～3月30日</td> <td style="text-align: right;">8,763人</td> </tr> </table> <p>(2) 文化を担う人づくりの推進</p> <p>ア 文化を未来に伝える次世代育み事業</p> <p>有識者による協議会「文化の知恵袋」を通じ、優れた専門講師を学校・地域に派遣し、地域に根ざした質の高い文化芸術を体験・体感する機会を提供した。</p> <p>(ア) 次世代文化継承・発展</p> <p>京都ならではのほんまもの人材による学校での体験事業等を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>小・中・高・特別支援学校等での芸術体験</td> <td style="text-align: right;">81件</td> </tr> <tr> <td>地域の文化会館等での地域文化育成事業</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> <tr> <td>指導者向け講座</td> <td style="text-align: right;">4</td> </tr> <tr> <td>就学前等の子ども対象事業</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> </table> <p>(イ) 古典芸能普及促進</p> <p>京都の歴史と伝統に育まれてきた古典芸能を継承し、技術を未来に引き継ぐため、古典芸能団体に助成を行った。</p>	場 所	開 催 日	入場者数	京都文化博物館他	平成31年 3月2日、3日	5,512人	場 所	開 催 日	入場者数	京都文化博物館	平成31年 1月19日～2月3日	45,266人	場 所	開 催 日	参加者数	京都信用金庫本店他	平成30年 7月19日～平成31年 3月1日	543人	場 所	会 期	出展者数	入場者数	京都文化博物館別館及び周辺	平成30年 9月22日～24日	125 <small>グループ</small>	約35,400人		平成31年 3月15日～17日	125	約27,300	場 所	開 催 日	入場者数	スプリングバレーブルワリー京都他	平成31年 2月1日～3月30日	8,763人	小・中・高・特別支援学校等での芸術体験	81件	地域の文化会館等での地域文化育成事業	13	指導者向け講座	4	就学前等の子ども対象事業	5
場 所	開 催 日	入場者数																																														
京都文化博物館他	平成31年 3月2日、3日	5,512人																																														
場 所	開 催 日	入場者数																																														
京都文化博物館	平成31年 1月19日～2月3日	45,266人																																														
場 所	開 催 日	参加者数																																														
京都信用金庫本店他	平成30年 7月19日～平成31年 3月1日	543人																																														
場 所	会 期	出展者数	入場者数																																													
京都文化博物館別館及び周辺	平成30年 9月22日～24日	125 <small>グループ</small>	約35,400人																																													
	平成31年 3月15日～17日	125	約27,300																																													
場 所	開 催 日	入場者数																																														
スプリングバレーブルワリー京都他	平成31年 2月1日～3月30日	8,763人																																														
小・中・高・特別支援学校等での芸術体験	81件																																															
地域の文化会館等での地域文化育成事業	13																																															
指導者向け講座	4																																															
就学前等の子ども対象事業	5																																															

				<p>助成件数 27件</p> <p>イ 全国高校生伝統文化フェスティバル開催事業 次世代の文化活動の夢や希望、目標の場として、「全国高校生伝統文化フェスティバル」を文化庁と共同開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>参加者数（観覧者含む）</td> </tr> <tr> <td>京都コンサートホール他</td> <td>平成30年12月15日、16日</td> <td>約3,230人</td> </tr> </table> <p>(3) 次なる「ほんまもん」の育成 京都文化を支える文化芸術団体の分野横断的連携を促進するとともに、各分野の芸術活動を振興し、新たな京都文化の創造を図った。</p> <p>ア 文化芸術団体連携強化事業 府内の文化芸術団体の活動支援及びネットワーク会議の開催により、芸術分野の枠を越えた連携強化と協働による取組の促進を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>文化芸術団体の活動への助成</td> <td>15団体</td> </tr> <tr> <td>京都府文化芸術団体ネットワーク会議の開催</td> <td>1回</td> </tr> </table> <p>イ ほんまもんの京都文化の担い手を育む事業 ほんまもんの京都文化を広く内外に発信し、文化力を活かした地域等の活性化を図るとともに、次世代に継承するため、プロや若手作家等による展覧会等を実施した。</p> <p>(ア) 京都野外彫刻展 野外に相応しい彫刻作品を展示することにより、府民の彫刻に対する関心を高めるとともに、京都彫刻界の振興を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>入場者数</td> </tr> <tr> <td>府立植物園</td> <td>平成30年9月29日～10月14日</td> <td>30,300人</td> </tr> <tr> <td>府立陶板名画の庭</td> <td>〃</td> <td>1,598</td> </tr> </table> <p>(イ) 京都新世代いけばな展 京都の若手華道家によるいけばな展を開催し、次代を担う華道家の育成及び華道の振興を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>入場者数</td> </tr> <tr> <td>大丸ミュージアム&lt;京都&gt;</td> <td>平成30年11月1日～6日</td> <td>6,870人</td> </tr> </table> <p>ウ ほんまもんで府民文化力を向上する事業 地域の舞台芸術公演や継承するべき古典公演などへ支援した。 舞台芸術振興・次世代体験 ほんまもんの舞台芸術を体験する機会の提供や、多様な舞台芸術公演の実施を通じて府民が舞台芸術に親しむ環境を創出し舞台芸術の活性化を図るため、府民ホールアルティ、府立文化芸術会館等での公演事業を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>公演事業数</td> <td>21件</td> </tr> </table> <p>(4) 個性豊かな文化圏の創造 地域アートマネージャーを配置し、市町村と協働して、地域の文化資源を発掘し、文化による地域の活性化を図るアーティスト・イン・レジデンス事業「京都：Re-Search」等を実施した。</p>	場 所	開 催 日	参加者数（観覧者含む）	京都コンサートホール他	平成30年12月15日、16日	約3,230人	文化芸術団体の活動への助成	15団体	京都府文化芸術団体ネットワーク会議の開催	1回	場 所	開 催 日	入場者数	府立植物園	平成30年9月29日～10月14日	30,300人	府立陶板名画の庭	〃	1,598	場 所	開 催 日	入場者数	大丸ミュージアム<京都>	平成30年11月1日～6日	6,870人	公演事業数	21件
場 所	開 催 日	参加者数（観覧者含む）																													
京都コンサートホール他	平成30年12月15日、16日	約3,230人																													
文化芸術団体の活動への助成	15団体																														
京都府文化芸術団体ネットワーク会議の開催	1回																														
場 所	開 催 日	入場者数																													
府立植物園	平成30年9月29日～10月14日	30,300人																													
府立陶板名画の庭	〃	1,598																													
場 所	開 催 日	入場者数																													
大丸ミュージアム<京都>	平成30年11月1日～6日	6,870人																													
公演事業数	21件																														

科 目	予 算 現 額 円	決 算 額 円	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
				<p>ア 地域アートマネージャーの配置 配置箇所 南丹広域振興局、中丹広域振興局</p> <p>イ 京都：Re-Search等の実施            (ア) アーティスト・イン・レジデンスの実施            &lt;短期アーティスト・イン・レジデンス&gt;            京丹後市 平成30年 8月20日～9月2日            亀岡市 平成31年 2月25日～3月10日            &lt;中期アーティスト・イン・レジデンス&gt;            京田辺市 平成30年 7月6日～7月16日            福知山市 平成30年11月2日～11月11日            (イ) フォーラムの開催  <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">場 所</td> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> </tr> <tr> <td>京都文化博物館</td> <td>平成31年 1月12日</td> <td>約110人</td> </tr> </table> </p> <p>(5) 文化力による地域活性化            文化力による地域活性化及び新たな文化価値創造を図るため、地域や商店街等と連携し、芸術家に創作や交流の機会、また展示や商談環境を提供した。また、年齢や障害等を問わず、誰もが文化・芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>ア 芸術村づくり事業            アトリエ付きシェアハウスの整備により、入居するアーティストの地域との交流、制作発表を支援するとともに、商店街の空き店舗等をどこでもギャラリーとして活用し、地域で活動する芸術家の作品等の展示を行った。            アトリエ付きシェアハウス 1箇所（亀岡市）            どこでもギャラリー 3 （八幡市、福知山市、京丹後市）</p> <p>イ 心ゆたかな芸術・文化のまちづくり事業            年齢や障害の有無にかかわらず、子どもから大人までがアーティストのサポートにより自分と他者との表現に出会える場として、「みんなでつくるちいさな人形劇場」事業を実施した。            京田辺会場 平成31年 2月9日～11日            福知山会場 平成31年 3月22日～24日</p> <p>(6) 文化圏の活動拠点の充実            文化芸術振興の「拠点」としての機能及び発信力を強化するため、緊急度の高い施設や設備の機能回復を実施した。</p> <p>ア 京都文化博物館            ハロン消火設備の更新等を実施</p> <p>イ 府民ホール            舞台音響設備の更新等を実施</p>	場 所	開 催 日	参加者数	京都文化博物館	平成31年 1月12日	約110人
場 所	開 催 日	参加者数								
京都文化博物館	平成31年 1月12日	約110人								

			<p>京都文化力プロジェクト2016-2020開催事業 (文化芸術課)</p>	<p>ウ 丹後文化会館 舞台音響設備の更新等を実施</p> <p>エ 中丹文化会館 舞台音響設備の更新等を実施</p> <p>オ 長岡京記念文化会館 舞台設備の更新等を実施</p> <p>3 執行額 278,069,615円</p> <p>1 施策の趣旨等 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、京都の文化を国内外に発信し、新しい文化創造を目指す「京都文化力プロジェクト2016-2020」事業を実施する。</p> <p>指標：京都文化を国内外に発信する文化イベントの開催数 目標：5回（平成27～令和元年度累計） 実績：5回（平成27～30年度累計）</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都文化力プロジェクト2016-2020の実施 2020年に向けた京都文化力プロジェクト実行委員会の取組として、アート&amp;クラフツ（美術・工芸）に着目した事業「野外インスタレーション公募展」及び「KYOTO・アート6芸術めぐり」等を実施した。</p> <p>ア アート&amp;クラフツ「野外インスタレーション公募展」の開催 世界14箇国、111件の応募から大賞を受賞した作品：「Kyoto Urban Wind Installation」のプランを実現し展示した。</p> <table border="0" data-bbox="1153 941 2049 1037"> <tr> <td>場 所</td> <td>開 催 日</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>旧京都府立総合資料館</td> <td>平成31年2月16日 ～3月17日</td> <td>約5,600人</td> </tr> </table> <p>イ 「KYOTO・アート6-芸術めぐり-」 開催日 平成30年9月21日～30日 場 所 福知山市佐藤清太記念美術館他 参加者 3,637人</p> <p>(2) 新・文化芸術振興助成事業 市町村における地域文化資源を活用した文化芸術活動を発展させるとともに、東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた新たな文化の創造の取組を推進するため、府内市町村やNPO等の地域団体等が取り組む文化活動に対し助成を行った。</p> <table border="0" data-bbox="1131 1292 1500 1364"> <tr> <td>文化芸術振興・発信事業</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>文化力チャレンジ事業</td> <td>27</td> </tr> </table> <p>3 執行額 67,080,440円 (うち 負担金 35,000,000円) 補助金 32,080,440)</p>	場 所	開 催 日	参加者数	旧京都府立総合資料館	平成31年2月16日 ～3月17日	約5,600人	文化芸術振興・発信事業	38件	文化力チャレンジ事業	27
場 所	開 催 日	参加者数												
旧京都府立総合資料館	平成31年2月16日 ～3月17日	約5,600人												
文化芸術振興・発信事業	38件													
文化力チャレンジ事業	27													



			<p>ア 多言語化対応研修会 場 所 開 催 日 参 加 者 数 キャンパスプラザ京都他 平成30年12月14日～ 114人 平成31年2月20日</p> <p>イ Wi-Fi設置補助 府内5施設</p> <p>(3) ICOM京都大会プレ大会関連行事の開催 プレ大会「ICOM舞鶴ミーティング2018」に関連した地元歓迎行事等を開催した。 場 所 開 催 日 参 加 者 数 舞鶴市商工観光センター 平成30年9月30日 172人</p> <p>3 執 行 額 6,000,000円 (負担金)</p>
		京都府ミュージアム フォーラム魅力発信事 業 (文化政策室)	<p>1 施策の趣旨等 ICOM舞鶴ミーティング2018の開催に合わせ、府内博物館ネットワークである京都府 ミュージアムフォーラムを活用した地域活性化の取組を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 京都府ミュージアムフォーラム参画施設によるICOM舞鶴ミーティング2018会場等での共 同展示会を開催し、各博物館や地域の魅力を発信した。</p> <p>3 執 行 額 1,536,324円 (うち委託料1,222,344円)</p>
		堂本印象美術館リノ バージョン記念事業 (文化政策室)	<p>1 施策の趣旨等 絵描き村の別称を持ち、歴史と伝統ある「衣笠」地域において、リノベーションされた堂 本印象美術館が文化発信の拠点となって、地域の文化振興を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 50周年リノベーション工事を契機とした特別展覧会等を開催した。</p> <p>(1) 特別展「堂本印象 創造への挑戦」の開催 開 催 日 入 場 者 数 平成30年4月1日～6月10日 14,582人</p> <p>(2) 新設の庭園スペース、イベント広場での展示、地域連携事業の開催</p> <p>3 執 行 額 5,000,000円 (委託料)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>文化力による未来づくり条例推進事業 (文化政策室)</p> <p>府有施設ブロック塀等緊急安全対策事業 (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「京都府文化力による未来づくり条例」に基づく審議会の設置や、条例の周知・広報を実施することにより、文化力による地域の活性化に向けた新しい文化行政の推進を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 京都府文化力による未来づくり審議会の開催 審議会の開催 3回 (2) 理解促進事業 「京都府文化力による未来づくり基本計画」冊子の作成</p> <p>3 執 行 額 971,358円</p> <p>1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 施設数 2施設</p> <p>3 執 行 額 4,562,240円 (工事請負費)</p>
9 体育振興費 (P74)	<p>6,317,807,160 (7,124,259,880)</p> <p>翌年度への繰越 事業費繰越額 657,339,000</p> <p>(スポーツ拠点施 設充実費 125,347,000)</p> <p>アユモドキ生息 環境保全対策費 99,992,000</p> <p>京都スタジアム 周遊拠点化事業 費 (432,000,000)</p>	<p>6,086,973,411 (6,460,321,762)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 57,588,296</p> <p>繰 越 金 594,896</p> <p>府 債 5,992,000,000</p> <p>一 般 財 源 36,790,219</p>	専用球技場整備事業 (スポーツ施設整備課)	<p>1 施策の趣旨等 京都スタジアムの整備を実施する(令和元年12月完成予定)。</p> <p>2 施策の実施状況 主体(建築)・電気設備・機械設備・昇降機設備・大型映像設備の各工事を実施 地下水モニタリング等調査を実施</p> <p>3 執 行 額 5,905,911,792円 (うち委託料 130,413,032円) 工事請負費 5,769,000,000)</p>

		<p>スポーツ拠点施設充実事業 (スポーツ施設整備課) 都 市 計 画 課</p>	<p>1 施策の趣旨等 丹波自然運動公園におけるクロスカントリーコース整備及び車いす競技専用練習コース整備や山城総合運動公園におけるアイススケート場整備を進めるとともに、広域的スポーツ施設の整備を実施する市町村への支援を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 丹波自然運動公園 クロスカントリーコース、車いす競技専用練習コースを整備</p> <p>(2) 山城総合運動公園 アイススケート場の造成工事を実施</p> <p>(3) 市町村への支援</p> <p>交 付 先 京都市 事業内容 西京極総合運動公園陸上競技場における諸室・トイレ改修 横大路運動公園における園路・駐車場等整備</p> <p>交 付 先 綾部市 事業内容 市民センターアリーナ部分における照明・空調等設備設置</p> <p>交 付 先 京丹後市 事業内容 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場第3種公認化整備に係る設計</p> <p>交 付 先 京丹波町 事業内容 グリーンランドみずほホッケーグラウンド夜間照明設備設置に係る設計</p>	<p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">119,728,320円 (うち 工事請負費 84,559,320円) 補助金 34,197,000)</p>
		<p>アユモドキ生息環境保全対策事業 (スポーツ施設整備課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 アユモドキ等との共生に向けたスタジアム周辺環境の調査・整備を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 ラバーダム(堰)の設計を実施、改修工事に着手 環境影響モニタリング調査の実施 環境保全専門家会議の実施</p>	<p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">43,395,320円 (うち 委託料 11,808,360円) 工事請負費 29,990,000)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備事業 (スポーツ振興課)</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック推進事業 (スポーツ振興課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けた準備等を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) ワールドマスターズゲームズ2021関西開催負担金 (2) 京都府基本計画の作成</p> <p>3 執 行 額 16,272,201円 (うち負担金 15,697,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成や聖火リレーの準備等を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーの開催 フラッグ歓迎イベント 日 時：平成30年7月4日 場 所：京都府立府民ホール アルティ 参加者：約400人 フラッグ展示 日 時：平成30年7月4日～8月9日 場 所：府内全市町村 (2) 東京2020オリンピック聖火リレー京都府実行委員会の設立</p> <p>3 執 行 額 1,665,778円</p>
10 広域振興局費 (P74)	129,530,000 (464,694,000)	129,398,000 (435,170,004) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 14,974,000 繰 入 金 10,000,000 一 般 財 源 104,424,000	地域振興計画推進事業 (企画参事)	<p>1 施策の趣旨等 広域振興局ごとに策定した「地域振興計画」に基づき、総合的・戦略的な視点による地域づくりを進める。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 山城広域振興局 ア 「お茶の京都」や「かぐや姫観光」による賑わいづくり事業 12市町村で「お茶の京都」を展開する中、宇治茶の価値・魅力を発信し、宇治茶ファンの拡大と宇治茶の消費拡大の取組やかぐや姫観光を企画、推進した。</p>

				<p>(ア) 山城の食の魅力発信と賑わいづくり 「宇治茶・山城ごちそうフェスタ」の開催 参加者 約15,000人</p> <p>(イ) 宇治茶文化の継承・復活を目指し、歴史や美味しさ等の魅力を伝達 宇治茶ムリエ講座 参加者 約1,060人 うちキッズ茶ムリエ検定 〃 約210</p> <p>(ウ) かぐや姫観光の推進、賑わい創出・発信 ・「京都・乙訓地域観光振興のためのプラットフォーム」によるワークショップの開催 ・「竹の里・乙訓」と「もうひとつの京都」を結ぶ大物産展の開催 参加者 約110,000人</p> <p>イ 木津川右岸地域の活性化事業 相楽東部地域の活性化のため、「相楽東部未来づくりセンター」を核に、府と相楽東部3町村や地域団体等が連携し、交流人口拡大に向けたスポーツ観光や子育て支援を推進した。</p> <p>(ア) 府・3町村等の連携によるスポーツ観光の推進 ・「京都きづ川アクティビティフェスタ」の開催 参加者 約1,500人</p> <p>(イ) 相楽東部の子育てを広域的に支援する基盤づくり ・多世代間交流、子育て世代の交流、相楽東部、西部の交流会等 6回 参加者 約2,400人</p> <p>ウ やましろ地域文化振興及び科学好き・ものづくり好きの子ども育成事業 研究施設、企業、大学、NPO等山城の地域資源を活かした最先端の科学・ものづくりの体験や文化活動団体との交流により、次代の担い手のふるさと意識を醸成した。</p> <p>(ア) 「やましろ未来っ子はくらん会」の開催 参加者 約1,100人</p> <p>(イ) やましろ未来っ子サイエンスラリーの実施 参加者 小・中学生 約2,700人 ラリーポイント 27箇所</p> <p>エ 人づくりに始まる災害に強いやましろづくり事業 管内市町村と連携し、自主防災組織等を対象に初動対応訓練や講演を実施するとともに、医療機関と連携した訓練等を実施した。</p> <p>(ア) 地域防災力向上講座の実施 7回（山城広域振興局宇治総合庁舎2回、木津川市、宇治市、久御山町、長岡京市、八幡市各1回） 参加者 311人</p> <p>(イ) 水害から身を守る情報啓発を、多雨期を中心に集中実施 ・パネル展の実施 15箇所 ・各市町村で防災情報の入手方法を記したチラシを住民に配布 18箇所</p> <p>(ウ) 災害拠点病院、市町村等と連携した災害対応訓練、研修会の実施 7回 参加者 約750人</p> <p>(エ) 福祉避難所の設置・運営訓練等の実施 2回 参加者 約160人</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額 円	決 算 額 円	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
				<p>(オ) 在宅で生活する療養児・者に対する災害対応力の向上を図る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓保健所 個別支援計画策定モデル事例を通じた検討会の実施 2回 参加者 37人</li> <li>・山城北保健所 医療的ケア児にかかる避難訓練等の実施 3回 参加者 35人</li> <li>・山城南保健所 災害時要配慮者の対応にかかる市町村保健師の研修会等の開催 3回 参加者 44人</li> </ul> <p>オ 誰もが安心して出産・子育てできる体制づくり事業 妊娠から子育てまで切れ目のない支援を地域全体で進めるため、市町村支援を実施した。</p> <p>(ア) 児童虐待を未然に防止するための医療・保健・福祉関係者の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産科医療機関と行政の産前産後の連携促進を図るための講演会 参加者 24人</li> <li>・「おとうさんのための子育て応援講座」の開催 〃 14</li> <li>・市町村職員等を対象とした事例検討会の開催 13回 〃 約90</li> </ul> <p>(イ) 発達障害児支援にかかる保健・福祉・教育関係者の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士を対象とした研修会の開催 2回 参加者 76人</li> <li>・福祉・教育機関等を対象とした学習会の開催 2 〃 約280</li> </ul> <p>(2) 南丹広域振興局</p> <p>ア 「京都丹波・森の京都」ブランド強化事業 京都縦貫自動車道の全線開通によるアクセスの向上や、京都丹波高原国定公園の指定など、賑わいと交流の基盤整備が進む京都丹波地域において、豊かな「自然・文化」、「食」、「木材」など地域ブランドの強化を図り、「森の京都」の取組を一層推進するため、「京都丹波・森の京都月間」を定め、体験型イベントを開催したほか、新たな商品開発や地域と連携した魅力発信を行った。</p> <p>(ア) 10月を「京都丹波・森の京都月間」に定め、京都丹波の魅力を感じることができる「京都丹波体感フェスタ」等のイベントを開催 「京都丹波体感フェスタ」来場者 約13,000人</p> <p>(イ) 地元産木材を使った食器・小物等の商品を地域のイベントや都市部での展示会等で発信</p> <p>(ウ) 地元ケーブルテレビや市町と連携したCATV番組「とれたて新鮮！森の京都丹波っ！」の制作</p> <p>(エ) 「京都丹波・写ガール隊」(大学、市町と連携)によるSNSを通じた魅力発信</p> <p>イ 「京都丹波 食と森の交流の都構想」推進事業 「森の京都」の取組の一環として、豊かな自然や高品質な食材の活用と交流人口の拡大により、地域の活性化を図るため、国内外からの旅行客の受入体制の整備や食のキャンペーンなどを積極的に推進した。</p> <p>(ア) 森の京都DMO等と連携し、教育体験旅行の受入を増やすなど、交流人口の拡大を推進</p>

				<p>宿泊を受け入れる家庭数 226戸 教育体験旅行受入人数 4,348人</p> <p>(イ) 農産物直売所の販売額拡大に向け、一流ホテルシェフと道の駅等が共同開発した「京都丹波イチ推しの食」メニューの発信や「おいしいお米キャンペーン」の開催等の取組を実施 販売額 23.4億円</p> <p>ウ 「住むなら京都丹波プロジェクト」事業 大都市部に近い京都丹波の強みを活かし、オール南丹で移住・定住の取組を進めた。</p> <p>(ア) セミナー・ツアーの開催等による「京都丹波・森の京都スタイル」の発信や地元出身者等への地元企業の採用情報等の提供 新規移住者 188人</p> <p>(イ) ピアサポーターのスキルアップや「子育てわくわくご近所応援団」の拡充等による「子育て王国 京都丹波」の推進 スキルアップ研修会・専門講座の開催 6回 参加者 175人</p> <p>エ 共生と安心・安全のまち推進事業 女性、高齢者、障害者等の社会参加・自立を地域全体で支援するとともに、「地域防災リーダー」の養成を目的とした防災関連のワークショップやイベント等を実施した。</p> <p>(ア) 女性の就労や地域活動、妊娠、育児などに関する支援団体の情報をまとめた小冊子を作成</p> <p>(イ) 療育教室や保育所、幼稚園等の従事者の発達障害児及び保護者への対応力向上に向けた研修の開催 8回 参加者 延べ63人</p> <p>(ウ) 地域防災リーダー育成ワークショップ・研修会の開催 3回 参加者 延べ107人</p> <p>(エ) 防災イベントの実施 1回（南丹市）</p> <p>(オ) 防災リーフレットの作成・配布 42,580戸配布（新聞折込）</p> <p>オ 次代の京都丹波活性化事業 京都丹波の中小企業・商店街のイノベーション創出や賑わいづくりの支援、農畜産業を支える新たな担い手の育成等を推進した。</p> <p>(ア) 「京都丹波中小企業支援Aチーム」による伴走支援や大手企業と地元企業とのビジネスマッチング会の開催等により、中小企業のイノベーション創出を支援 ビジネスマッチング会の開催 1回 参加企業 40社 参加者 100人</p> <p>(イ) 消費者の省エネ行動と連動した商店街等への誘客を図る「おでかけCOOLプロジェクト」の実施</p> <p>(ウ) 畜産の多角経営やスマート農業を目指す若者向けの塾やセミナーの開催 京都丹波和牛塾・チャレンジセミナーの開催 5回 参加者 延べ23人 スマート農業勉強会の開催 2 “ 155</p> <p>(3) 中丹広域振興局</p> <p>ア いきいき 中丹観光・特産品パワーアップ事業 クルーズ客をはじめ地域内外に、全国茶品評会において10年連続産地賞の中丹茶やジビエなど、海・森の京都の魅力を発信するとともに、新たな特産品開発やマーケティング</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>グ調査等を実施し、京都舞鶴港や地域での販売・消費拡大を推進した。</p> <p>(ア) クルーズ客滞在交流促進事業          ・地元商店連携「まちなかクルーズ船歓迎市」の開催 6回 参加店 延べ69店          ・「海の京都・観光マーケット」の開催 5回</p> <p>(イ) 女性の心を射貫く！中丹の魅力商品開発・発信事業          ・「中丹いち推し商品」の選定 6点</p> <p>(ウ) 京都中丹認証ジビエ倍増戦略事業          ・新規メニュー及び商品開発の支援 新規メニュー 4点 商品開発 7点          ・ジビエフェア及び地域イベントの参加店舗 延べ44店          ・京都中丹認証ジビエの新規認証施設 1施設</p> <p>(エ) 未来を拓く茶どころ中丹発展支援事業          ・若手茶農家グループによる研究茶園の設置 2箇所          ・茶の手摘み等を支援する中丹茶サポーターの新規登録者 41人</p> <p>イ 「京都縦貫トレイル」づくり事業          京都府北中部地域の新たな観光資源構築のため、京都の北・中部を繋ぐロングトレイル開設や大江山連峰トレイルの観光地域づくりを推進するとともに、ロングトレイルを繋ぐ拠点となる農家民宿の魅力グレードアップ等を推進した。</p> <p>(ア) 「京都縦貫トレイル」づくり事業          ・「京都縦貫トレイル」の開設          トレイルルートの登山地図アプリへの掲載 2地域 23ルート          ・トレイルの持続可能な維持活動構築に向けた道普請ツアーの開催 参加者 43人</p> <p>(イ) 「農家民宿等」魅力づくり事業          ・農家民宿等の経営安定やサービス向上のための講習会の開催          2回 参加者 43人          ・農家民宿村づくり支援 2地域</p> <p>ウ 明治150年 海の京都を巡る「文明開化特別列車」ミュージアム事業          明治150年を機に、府北部地域にある明治期の近代化産業遺産等にスポットを当て、京阪神からの誘客に繋げるため、「文明開化特別列車」で海の京都エリアを巡るツアーをJR西日本や京都丹後鉄道等と連携して実施した。          ・近代化遺産等にスポットを当てたツアーの開催 参加者 26人</p> <p>エ 若者ターゲット 地域と共生した移住定住事業          中丹地域への移住・定住を促進するため、子育て支援体制づくりや移住先としてのPR等を実施した。</p> <p>(ア) 中丹地域高齢者・子育てまると包括支援事業          ・中丹子育て包括支援プラットフォーム会議の開催          ・子育て中の親子が高校生等を対象に赤ちゃんとのふれあい体験等を実施 4校          ・中丹エンジェル支え隊応援講座の開催 3回 参加者 235人</p>

				<p>(イ) 「育・職・住」ライフスタイル推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中丹地域で「働く・暮らす」をテーマとした記事の編集・発信等 12回 SNS登録者 4,036人</li> <li>・多様な働き方の創出に向けたセミナーの開催 5回</li> </ul> <p>(ウ) 中小企業 地元若者人材確保支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の人材確保に関する研修交流会の開催 参加企業 42社 参加校 13校</li> <li>・教職員対象の企業見学交流会の開催 〃 10 〃 11</li> </ul> <p>(エ) 「中丹いなか暮らし」魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・定住セミナー（大阪市）及び現地体験ツアーの開催 6回 参加者 100人</li> </ul> <p>オ 中丹地域木材供給力集中強化事業</p> <p>管内民間業者の素材生産力の更なる強化のため、木材供給力向上に必要な集材技術の実習等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・架線系集材技術の習得のためのOJT研修の実施 1回 参加者 6人</li> </ul> <p>(4) 丹後広域振興局</p> <p>ア 丹後の食の魅力づくりによる誘客促進・販促展開事業</p> <p>四季を通じての産地発信、地産地消の仕組みづくりを進めるとともに、丹後産加工品等の物流体制を新たに構築し、販促活動を展開することで、丹後への誘客を促進した。</p> <p>(ア) 丹後グルメフェスティバルの開催 来場者 5,767人</p> <p>(イ) 丹後産品の魅力向上・発信</p> <p>丹後うまいもんフェア等の開催 7回 丹後産フルーツ&amp;地酒フェアの開催 11店舗</p> <p>(ウ) 四季毎に選定した旬の食材を使った昼食の提供店舗を認定し、統一的に発信 選定食材 40種類 旬の食材提供認定店舗 44店舗（延べ107店舗）</p> <p>イ 広域周遊観光を目指した観光交通充実事業</p> <p>丹後地域の豊富な観光資源やジオパークなどの自然環境を生かし、鉄道事業者との連携や自転車の活用による周遊観光につながる事業を実施した。</p> <p>(ア) JR西日本、京都丹後鉄道、兵庫県と連携した「近畿のキタだよ、北近畿キャンペーン」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンペーン専用サイトにおけるモデルコース掲載 季節ごとに2コース</li> <li>・モデルコースを評価する「トライアルトラベラー」事業の実施 2回</li> <li>・京阪神の主要ホテル等コンシェルジュへのPR 訪問先 ホテル15箇所 外国人観光案内所 2箇所</li> </ul> <p>(イ) 天橋立－城崎温泉直通「城崎・天橋立ダイレクト」の運行に合わせた誘客PRの実施</p> <p>運行日数 9日間（夏休み期間中の日曜日、祝日） アテンダントによる沿線観光案内、地酒試飲、グッズ販売</p> <p>(ウ) 山陰海岸ジオパークでの大学生フィールドワークに係るガイドの実施 3回 参加者 延べ37人</p> <p>(エ) 丹後サイクル・リビングラボ展開事業によるサイクリスト受け入れ環境整備 エイドステーション整備 2箇所 自転車ラック設置 45基</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額 円	決 算 額 円	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
				<p>ウ 丹後の森の新たな魅力を発掘・発信する事業 地域住民やNPO等多様な主体との協働により森林の保全活動等を実施した。 ・丹後王国の森での自然観察会等開催 3回 延べ80人</p> <p>エ 若い力で丹後を元気に！プロジェクト事業 「阿蘇海の日」などに阿蘇海の恵みに親しむイベントを開催するとともに、学生ボランティア等と連携したカキ殻回収等を実施した。 (ア) 阿蘇海流域環境改善に係るイベント・連携事業の実施 8事業 (イ) 学生ボランティア等と協働したカキ殻回収活動の実施 参加者 延べ674人 カキ殻回収量 60t</p> <p>オ 「丹後ちりめん創業300年」を契機とした地場産業振興事業 2020年に迎える「丹後ちりめん創業300年」を見据え、丹後ちりめん創業300年事業実行委員会により、地域一体となった「丹後ちりめん」産業の振興を推進した。 (ア) 新しいロゴマーク「TANGO OPEN」発表及び利用企業の認定 ・「TANGO OPEN」ロゴマーク発表会の開催 平成30年7月26日 3×3 Lab Future (東京都千代田区) 来場者 約100人 ・ロゴマーク利用認定企業 17社 (イ) パリコレにおける「丹後ちりめん」を活用したドレスの発表 参加企業 6社 丹後産生地使用ドレス等 14着 (ウ) 首都圏における産地単独総合展 (Tango Fabric Marche) の開催 参加企業 13社 来場者 248人 (エ) 首都圏、京阪神の学生とのコラボ商品開発 参加学生 10組12人 参加企業 8社 (オ) 「IMAGINE ONEWORLD KIMONO PROJECT」への参画 アルゼンチン共和国をテーマにした着物、帯等を制作 制作企業 5社</p> <p>カ 地域の実情に応じた防災・減災対策の推進事業 各市町等と連携し、丹後地域特有の実情を踏まえた防災訓練等を実施した。 ・地域防災リーダー等研修会の開催 参加者 172人</p> <p>キ 丹後地域の産業を支える人材確保・移住促進事業 移住を促進し、地域産業を支える人材を確保するため、移住希望者のニーズにきめ細やかに対応するとともに、人材確保に熱意を持って取り組む企業を応援し、長期的な産業振興に繋げた。 (ア) 企業向け採用活動セミナーの開催 4回 参加者 延べ86人 (イ) ものづくり企業の売り込みのための大学訪問や学内企業説明会の開催 訪問先 10校 学内企業説明会 2校 参加企業数 16社 参加学生数 57人 (ウ) 大阪での移住セミナー等の開催 4回 参加者 97人</p> <p>3 執 行 額 129,398,000円</p>

<p>11 京都学・歴 彩館費 (P74)</p>	<p>117,000,000 (838,723,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 81,000,000 (北山文化環境 ゾーン広場・プ ロムナード整備 事業費)</p>	<p>31,870,709 (746,591,731) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 6,596,889 府 債 18,000,000 一 般 財 源 7,273,820</p>	<p>北山文化環境ゾーン広 場・プロムナード整備 事業 (文化政策室)</p> <p>国際京都学活動推進事 業 (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 京都学・歴彩館と周辺施設との連携・交流のため、広場及びプロムナードを整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 基本・実施設計等を行った。</p> <p>3 執 行 額 18,169,920円 (委託料)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都学・歴彩館を拠点として、京都の歴史、文化に関するフォーラム等の実施及び国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築し、研究成果を国内外へ発信する。</p> <p>指標：研究機関との交流協定締結件数 目標：3件 実績：7件 指標：海外研究者の招聘・受入 目標：2人 実績：4人 指標：講演会等の開催回数 目標：12回 実績：11回</p> <p>2 施策の実施状況 京都の文化資源などをテーマにセミナー等を開催したほか、地域の文化資源について、大学・研究機関と共同で研究を行った。</p> <p>(1) 大学等との共同研究会の実施 ア 平成30年度研究テーマ「洛西の文化資源」 参加大学等 府立大学ほか6大学等 イ 平成29年度研究テーマ「南山城の文化資源」 報告書及び一般書籍の発行 ウ 平成28年度研究テーマ「丹波の文化資源」について「京都を学ぶセミナー」実施 (計9回 延べ984人)</p> <p>(2) 海外若手研究員招聘事業の実施 京都学・歴彩館と覚書を締結した日本文化研究機関から推薦を受けた海外若手研究者の中から選考の上、研究員として招聘(4箇国、4人)</p> <p>(3) 海外若手研究員による府民向けセミナーの実施 海外から招聘した日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催(平成31年2月22日開催、参加者94人)</p> <p>(4) 京都学・歴彩館にぎわい創出事業の実施 若手芸術家作品の館内展示や京都府文化賞奨励賞受賞記念公演(平成31年3月23日開催、参加者430人)等、京都文化の発展に資する催しの実施により、生涯学習の交流・発信拠点としてのにぎわいを創出(館内展示10点、講演会等5回、1,250人)</p> <p>3 執 行 額 13,700,789円</p>
-----------------------------------	---	--	---	---





科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																																																
	円	円		<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">事 業 内 容</td> <td style="text-align: right;">件数</td> <td style="text-align: right;">補 助 金</td> </tr> <tr> <td>地震・火災等から文化財（有形）を守る事業</td> <td style="text-align: right;">1件</td> <td style="text-align: right;">145,000円</td> </tr> <tr> <td>文化財保護のこころを育む事業</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td style="text-align: right;">2,000,000</td> </tr> <tr> <td>文化レジリエンス事業</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td style="text-align: right;">2,000,000</td> </tr> <tr> <td>(2) 未指定文化財の保全</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事 業 内 容</td> <td style="text-align: right;">件数</td> <td style="text-align: right;">補 助 金</td> </tr> <tr> <td>防災防犯設備の整備又は保存施設の修理</td> <td style="text-align: right;">15件</td> <td style="text-align: right;">7,487,000円</td> </tr> <tr> <td>建造物の補修</td> <td style="text-align: right;">28</td> <td style="text-align: right;">28,071,000</td> </tr> <tr> <td>美術工芸品の補修</td> <td style="text-align: right;">31</td> <td style="text-align: right;">19,907,000</td> </tr> <tr> <td>有形民俗文化資料の保全等</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td style="text-align: right;">6,622,000</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化資料の保全等</td> <td style="text-align: right;">17</td> <td style="text-align: right;">2,858,000</td> </tr> <tr> <td>遺跡の保全</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td style="text-align: right;">55,000</td> </tr> <tr> <td>(3) 選定委員会の開催等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">文化財を守り伝える京都府基金事業の選定委員会を開催するとともに、PRリーフレットを作成し、寄附の呼びかけに関する広報活動を行った。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">寄附金額 201件 13,270,026円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3 執 行 額</td> <td style="text-align: right;">78,119,253円 (うち補助金 77,441,000円)</td> </tr> </table>	事 業 内 容	件数	補 助 金	地震・火災等から文化財（有形）を守る事業	1件	145,000円	文化財保護のこころを育む事業	1	2,000,000	文化レジリエンス事業	1	2,000,000	(2) 未指定文化財の保全			事 業 内 容	件数	補 助 金	防災防犯設備の整備又は保存施設の修理	15件	7,487,000円	建造物の補修	28	28,071,000	美術工芸品の補修	31	19,907,000	有形民俗文化資料の保全等	13	6,622,000	無形民俗文化資料の保全等	17	2,858,000	遺跡の保全	1	55,000	(3) 選定委員会の開催等			文化財を守り伝える京都府基金事業の選定委員会を開催するとともに、PRリーフレットを作成し、寄附の呼びかけに関する広報活動を行った。			寄附金額 201件 13,270,026円			3 執 行 額		78,119,253円 (うち補助金 77,441,000円)
事 業 内 容	件数	補 助 金																																																		
地震・火災等から文化財（有形）を守る事業	1件	145,000円																																																		
文化財保護のこころを育む事業	1	2,000,000																																																		
文化レジリエンス事業	1	2,000,000																																																		
(2) 未指定文化財の保全																																																				
事 業 内 容	件数	補 助 金																																																		
防災防犯設備の整備又は保存施設の修理	15件	7,487,000円																																																		
建造物の補修	28	28,071,000																																																		
美術工芸品の補修	31	19,907,000																																																		
有形民俗文化資料の保全等	13	6,622,000																																																		
無形民俗文化資料の保全等	17	2,858,000																																																		
遺跡の保全	1	55,000																																																		
(3) 選定委員会の開催等																																																				
文化財を守り伝える京都府基金事業の選定委員会を開催するとともに、PRリーフレットを作成し、寄附の呼びかけに関する広報活動を行った。																																																				
寄附金額 201件 13,270,026円																																																				
3 執 行 額		78,119,253円 (うち補助金 77,441,000円)																																																		
			<p>祇園祭山鉾懸装品新調事業 (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 祇園祭山鉾懸装品のうち、損傷が著しく、保存を要するものについて、これらの代替品として現代の意匠・染織技術の粋を集めた文化的価値の高い懸装品の新調を行う保存団体等を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 公益財団法人放下鉾保存会ほか4団体に対し支援を行い、祇園祭山鉾懸装品の保全を図った。</p> <p>3 執 行 額 15,000,000円 (補助金)</p>																																																
			<p>文化財災害復旧事業 (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨、台風20号及び台風21号により被害を受けた文化財等の災害復旧に対して支援する。</p>																																																

				<p>2 施策の実施状況</p> <p>未指定文化財で、平成30年7月豪雨、台風20号及び台風21号により被害を受けた建造物等の修復事業に対し補助した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>件数</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建造物の修復</td> <td>22件</td> <td>19,011,000円</td> </tr> <tr> <td>防災防犯設備の整備等</td> <td>12</td> <td>5,583,000</td> </tr> <tr> <td>その他土砂、倒木撤去等境内整備</td> <td>68</td> <td>10,919,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 執行額 35,513,000円 (補助金)</p>	事業内容	件数	補助金	建造物の修復	22件	19,011,000円	防災防犯設備の整備等	12	5,583,000	その他土砂、倒木撤去等境内整備	68	10,919,000
事業内容	件数	補助金														
建造物の修復	22件	19,011,000円														
防災防犯設備の整備等	12	5,583,000														
その他土砂、倒木撤去等境内整備	68	10,919,000														
<p>2 企画費</p> <p>1 企画総務費 (P80)</p>	<p>131,340,000 (1,166,914,000)</p>	<p>131,340,000 (1,165,432,752)</p> <p>決算額の財源 内訳 一般財源 131,340,000</p>	<p>関西広域連合分担金 (戦略企画課)</p>	<p>1 施策の趣旨等</p> <p>関西広域連合は、平成22年12月1日に関西の2府5県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県）が結集し、複数府県で構成される全国初の広域連合として設立され、平成24年から4政令市（京都市、大阪市、堺市、神戸市）、平成27年12月から奈良県も加わった。</p> <p>その運営に要する経費に対して分担金を支出することにより、広域的な課題に取り組み、住民の安心・安全を守り、関西を活性化する広域行政の推進を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 広域連合議会等の開催</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>広域連合議会の開催</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>広域連合議会総務常任委員会の開催</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>広域連合議会防災医療常任委員会の開催</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>広域連合議会産業環境常任委員会の開催</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>広域連合委員会の開催</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>広域連合協議会の開催</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 広域連合の事業分野</p> <p>防災、観光・文化・スポーツ振興、産業振興、医療、環境保全、資格試験・免許等、職員研修の7分野の各事業及び広域行政の推進に係る基本的な政策の企画調整を実施</p> <p>3 執行額 131,340,000円 (負担金)</p>	広域連合議会の開催	4回	広域連合議会総務常任委員会の開催	2	広域連合議会防災医療常任委員会の開催	2	広域連合議会産業環境常任委員会の開催	2	広域連合委員会の開催	12	広域連合協議会の開催	2
広域連合議会の開催	4回															
広域連合議会総務常任委員会の開催	2															
広域連合議会防災医療常任委員会の開催	2															
広域連合議会産業環境常任委員会の開催	2															
広域連合委員会の開催	12															
広域連合協議会の開催	2															
<p>2 計画調査費 (P80)</p>	<p>490,501,000 (2,345,859,000)</p>	<p>464,920,879 (2,305,816,809)</p>	<p>ウトロ地区住環境改善事業 (総務調整課)</p>	<p>1 施策の趣旨等</p> <p>宇治市ウトロ地区について、国・府・宇治市の三者連携により、平成27年3月に策定されたウトロ地区小規模改良事業計画に基づき住環境の改善を図る。</p>												

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
	<p>円 翌年度への繰越 事業費繰越額 13,559,000 (ウトロ地区住環 境改善事業費)</p>	<p>円 決算額の財源 内訳 国庫支出金 97,234,183 繰越金 1,520,000 府債 105,000,000 一般財源 261,166,696</p>	<p>「海の京都」DMO推進 事業 (企画参事)</p>	<p>目標：宇治市ウトロ地区の住環境改善 実績：公的住宅第1期棟及び雨水貯留施設の建設等</p> <p>2 施策の実施状況 国・府・宇治市の三者で構成される「ウトロ地区住環境改善検討協議会」における連携のもと、平成30年7月に完成した雨水貯留施設の整備をはじめ、宇治市が行う地区内幹線道路等の整備に係る用地取得及び既存住宅の除却等に対して助成した。</p> <p>3 執行額 <span style="float:right">107,515,000円 (補助金)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。</p> <table border="0" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>海の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>1,100万人</td> <td>969万人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※「海の京都クルージングフェスタ」開催事業と共通の目標</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 海の京都エリアの観光振興を図るため、海の京都DMOが行う事業に対して助成した。</p> <p>(1) マーケティング調査事業 外国人・日本人観光客動向調査、観光圏顧客満足度調査等 事業数 6事業</p> <p>(2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業 着地型旅行商品造成等 335商品 クルーズ船オプションツアーの手配 12回 参加者 1,961人</p> <p>(3) 特産品のブランド化・販売促進 ECサイト「海の京都市場」、海の京都丹後特産品コーナー（高島屋洛西店）等での販売 Web商品売上高 3,024千円</p> <p>(4) インバウンド推進事業 インバウンド向けプロモーションの実施、多言語環境の整備等 海外向け商談会への参加 11回 現地旅行社等訪問 66社</p> <p>(5) 人材育成・確保 観光ガイド養成講座等開催 参加者 延べ300人</p>	指 標	目 標	実 績	海の京都エリアにおける観光入込客数	1,100万人	969万人	※「海の京都クルージングフェスタ」開催事業と共通の目標		
指 標	目 標	実 績											
海の京都エリアにおける観光入込客数	1,100万人	969万人											
※「海の京都クルージングフェスタ」開催事業と共通の目標													

			<p>「海の京都クルージングフェスタ」開催事業 (企画参事)</p>	<p>(6) 情報発信・プロモーション事業 HPの充実強化、SNSを活用した情報発信等 地方紙等への掲載</p> <p>3 執行額 82,300,000円 (負担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 「海の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を今後にわたって発展させていくため、「海の京都」エリア内外からの周遊促進を図るイベントを開催する。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>海の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>1,100万人</td> <td>969万人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※「海の京都」DMO推進事業と共通の目標</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 「海の京都」のキーワードのもと、地域が一体となり、地域の魅力や価値をさらに多くの方に体感いただき、更なる交流を促すため、「海の京都クルージングフェスタ」を開催した。 開催日 平成30年10月14日 開催場所 福知山駅北口公園、福知山城、福知山市厚生会館 開催内容 「海の京都エリア」の「食」にスポットを当てた駅前マルシェの開催やスイーツ店舗の出店、ご当地グルメのブース販売のほか、地域団体やタレントによるステージショーやトークショーといったイベントを実施 来場者数 約47,500人</p> <p>3 執行額 8,000,000円 (うち負担金 7,500,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>森の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>969万人</td> <td>939万人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業と共通の目標</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 森の京都エリアの観光振興を図るため、森の京都DMOが行う事業に対して助成した。</p>	指 標	目 標	実 績	海の京都エリアにおける観光入込客数	1,100万人	969万人	※「海の京都」DMO推進事業と共通の目標			指 標	目 標	実 績	森の京都エリアにおける観光入込客数	969万人	939万人	※「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業と共通の目標		
指 標	目 標	実 績																				
海の京都エリアにおける観光入込客数	1,100万人	969万人																				
※「海の京都」DMO推進事業と共通の目標																						
指 標	目 標	実 績																				
森の京都エリアにおける観光入込客数	969万人	939万人																				
※「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業と共通の目標																						
			<p>「森の京都」DMO推進事業 (企画参事)</p>	<p>(6) 情報発信・プロモーション事業 HPの充実強化、SNSを活用した情報発信等 地方紙等への掲載</p> <p>3 執行額 82,300,000円 (負担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 「海の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を今後にわたって発展させていくため、「海の京都」エリア内外からの周遊促進を図るイベントを開催する。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>海の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>1,100万人</td> <td>969万人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※「海の京都」DMO推進事業と共通の目標</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 「海の京都」のキーワードのもと、地域が一体となり、地域の魅力や価値をさらに多くの方に体感いただき、更なる交流を促すため、「海の京都クルージングフェスタ」を開催した。 開催日 平成30年10月14日 開催場所 福知山駅北口公園、福知山城、福知山市厚生会館 開催内容 「海の京都エリア」の「食」にスポットを当てた駅前マルシェの開催やスイーツ店舗の出店、ご当地グルメのブース販売のほか、地域団体やタレントによるステージショーやトークショーといったイベントを実施 来場者数 約47,500人</p> <p>3 執行額 8,000,000円 (うち負担金 7,500,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>森の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>969万人</td> <td>939万人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業と共通の目標</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 森の京都エリアの観光振興を図るため、森の京都DMOが行う事業に対して助成した。</p>	指 標	目 標	実 績	海の京都エリアにおける観光入込客数	1,100万人	969万人	※「海の京都」DMO推進事業と共通の目標			指 標	目 標	実 績	森の京都エリアにおける観光入込客数	969万人	939万人	※「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業と共通の目標		
指 標	目 標	実 績																				
海の京都エリアにおける観光入込客数	1,100万人	969万人																				
※「海の京都」DMO推進事業と共通の目標																						
指 標	目 標	実 績																				
森の京都エリアにおける観光入込客数	969万人	939万人																				
※「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業と共通の目標																						

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
	円	円		<p>(1) マーケティング調査事業 外国人・日本人観光客動向調査等 事業数 3事業</p> <p>(2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業 着地型旅行商品造成等 71商品 教育体験旅行受入数 1,120人 〃 校数 22校</p> <p>(3) 特産品のブランド化・販売促進 ECサイトの立ち上げによるWeb上の販路開拓、府内産材や漆の活用・PR等 Web商品売上高 382千円</p> <p>(4) インバウンド推進事業 欧米豪やアジア圏へのインバウンド誘致に向けた体験・滞在プログラムの整備等 海外商談会への参加 2回 現地旅行社等との商談</p> <p>(5) 人材育成・確保 森の京都観光地域づくりパートナーの配置・ネットワーク化、ネイチャーガイド育成等</p> <p>(6) 情報発信・プロモーション事業 体験プログラム、飲食店等を掲載したクーポンブックの作成 地方紙等への掲載</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">48,575,000円 (負担金)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 「森の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を今後にわたって発展させていくため、「森の京都」地域が一体となって取り組むイベントを開催する。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>969万人</td> <td>939万人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「森の京都」DMO推進事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 「森の京都」事業の取組を通じて磨き上げてきた地域の魅力や価値を、さらに多くの方に体感いただき、観光地域づくりや森林づくり等の一層の推進を図るため、『「森の京都ハーベスト・ガラ」「森のレストラン」』を開催した。</p>	指 標	目 標	実 績	森の京都エリアにおける観光入込客数	969万人	939万人
指 標	目 標	実 績								
森の京都エリアにおける観光入込客数	969万人	939万人								
			「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業 (企画参事)							

			<p>「お茶の京都」DMO推進事業 (企画参事)</p>	<p>開催日 平成30年10月13日  開催場所 南丹市「STIHLの森 京都」  開催内容 「森の京都」エリアの特産食材を活用した料理を提供するブースの出店や、和太鼓や人形浄瑠璃といった地域の伝統芸能を披露するステージイベント等を実施  来場者数 約13,000人</p> <p>3 執行額 8,000,000円 (うち負担金 7,500,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等  観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図るため、観光地域づくりの総合プロデューサーである一般社団法人京都山城地域振興社（お茶の京都DMO）を支援し、地域の稼ぐ力の創出を図る。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">目 標</th> <th style="text-align: center;">実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td style="text-align: center;">1,267万人</td> <td style="text-align: center;">1,254万人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※「お茶の京都 宇治茶博2018」開催事業と共通の目標</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況  お茶の京都エリアの観光振興を図るため、お茶の京都DMOが行う事業に対して助成した。</p> <p>(1) マーケティング調査事業  外国人・日本人観光客動向調査、顧客満足度調査等  事業数 2事業</p> <p>(2) 着地型旅行商品等の造成・販売事業  着地型旅行商品造成等 95商品  タクシー周遊プラン造成 13コース</p> <p>(3) 特産品のブランド化・販売促進  ECサイトによる販売の強化、百貨店・地下街での物産展出店等  Web商品売上高 2,875千円</p> <p>(4) インバウンド推進事業  海外商談会への参加 3回  現地旅行社等との商談社数 67社</p> <p>(5) 人材育成・確保  観光地域づくり専門アドバイザー派遣地域・施設等 87件  観光ガイド育成講座 9回</p> <p>(6) 情報発信・プロモーション事業  国内・海外向けプロモーションイベントの実施  地方紙、旅行雑誌等への掲載</p>	指 標	目 標	実 績	お茶の京都エリアにおける観光入込客数	1,267万人	1,254万人	※「お茶の京都 宇治茶博2018」開催事業と共通の目標		
指 標	目 標	実 績											
お茶の京都エリアにおける観光入込客数	1,267万人	1,254万人											
※「お茶の京都 宇治茶博2018」開催事業と共通の目標													

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
	円	円		<p>(7) 宇治茶プレミアムブランド化推進事業 国内外、特に世界の文化集積地であるパリ等で、宇治茶ブランド確立に向けたプロモーションを実施した。</p> <p>ア 宇治茶プレミアム企画展の開催 開催期間 平成30年11月22日～24日 開催場所 フランス・パリ市内</p> <p>イ プレミアム茶会・宇治茶サロンの開催 開催期間 平成30年11月21日、23日、24日 開催場所 とらやパリ店 他</p> <p>ウ 二つ星レストランシェフとのワークショップの開催 開催日 平成30年11月23日 開催場所 フランス・パリ市内</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">64,108,000円 (負担金)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 「お茶の京都博」で取り組んできた宇治茶の価値の再発見、茶文化情報の発信、茶産業創造支援の展開を継続し、観光入込客数の拡大を図るためのイベントを開催する。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都エリアにおける観光入込客数</td> <td>1,267万人</td> <td>1,254万人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「お茶の京都」DMO推進事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 「お茶の京都」事業の取組を通じて再認識された宇治茶の価値や文化、景観の継続的な浸透を図るとともに、地域が主体となった連携組織により誘客につなげるため、「宇治新茶八十八夜茶摘みの集い」を皮切りに、お茶の京都エリアの12市町村において宇治茶関連イベントを実施した。</p> <p>メインイベント：Premium Green Fes. 宇治茶まつり 開催日 平成30年10月7日 開催場所 宇治市「府立宇治公園」 開催内容 宇治茶の魅力を体験できる一大イベントとして、お茶の産地別飲み比べや抹茶アートといったイベントを開催 来場者数 約41,000人</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">8,000,000円 (うち負担金 7,500,000円)</span></p>	指 標	目 標	実 績	お茶の京都エリアにおける観光入込客数	1,267万人	1,254万人
指 標	目 標	実 績								
お茶の京都エリアにおける観光入込客数	1,267万人	1,254万人								
			「お茶の京都 宇治茶博2018」開催事業 (企画参事)							

		<p>「コミュニティ・コンビニ」整備事業 (企画参事)</p>	<p>1 施策の趣旨等 過疎・高齢化が進む地域の暮らしを支える「コミュニティ・コンビニ」(小さな拠点の京都モデル)を3市1村で構築する。 実施地域 福知山市(三和)、南丹市(胡麻)、木津川市(加茂)、南山城村</p> <p>2 施策の実施状況 生活関連サービス提供の仕組みづくり等を行う「コミュニティ・コンビニ公共員」を配置する等、「コミュニティ・コンビニ」の整備・運営を支援した。</p> <p>3 執行額 4,079,611円</p>	<p>1 施策の趣旨等 「明治150年」を契機に、明治期における衰退期の危機を乗り越えた京都府の先人達の挑戦を振り返り、京都の次代を担う人づくりと文化・産業のさらなる発展につなげる。</p> <p>2 施策の実施状況 大学や企業等と連携して、次代を担う若者が明治期の京都を学び、今後の京都の未来を考える機会を提供した。 (1) メインイベント「明治150年京都創生フェスティバル」 開催日 平成30年10月6日 開催場所 京都学・歴史館、府立大学、府立医科大学、教養教育共同化施設「稲盛記念会館」 開催内容 記念式典、大学等研究活動紹介・小中高生向け体験教室、にぎわい・文化交流ゾーン、企画展示 来場者数 約1,500人 医大会場約1,200人 (2) 大学・企業等との連携事業 各大学・企業施設等において、明治150年をテーマにしたイベント、企画展示等を実施した。</p> <p>3 執行額 8,176,892円 (うち委託料 7,947,020円)</p>
		<p>明治150年大学等連携プロジェクト事業 (企画総務課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「明治150年」を契機に、明治期における衰退期の危機を乗り越えた京都府の先人達の挑戦を振り返り、京都の次代を担う人づくりと文化・産業のさらなる発展につなげる。</p> <p>2 施策の実施状況 大学や企業等と連携して、次代を担う若者が明治期の京都を学び、今後の京都の未来を考える機会を提供した。 (1) メインイベント「明治150年京都創生フェスティバル」 開催日 平成30年10月6日 開催場所 京都学・歴史館、府立大学、府立医科大学、教養教育共同化施設「稲盛記念会館」 開催内容 記念式典、大学等研究活動紹介・小中高生向け体験教室、にぎわい・文化交流ゾーン、企画展示 来場者数 約1,500人 医大会場約1,200人 (2) 大学・企業等との連携事業 各大学・企業施設等において、明治150年をテーマにしたイベント、企画展示等を実施した。</p> <p>3 執行額 8,176,892円 (うち委託料 7,947,020円)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「明治150年」を契機に、明治期における衰退期の危機を乗り越えた京都府の先人達の挑戦を振り返り、京都の次代を担う人づくりと文化・産業のさらなる発展につなげる。</p> <p>2 施策の実施状況 大学や企業等と連携して、次代を担う若者が明治期の京都を学び、今後の京都の未来を考える機会を提供した。 (1) メインイベント「明治150年京都創生フェスティバル」 開催日 平成30年10月6日 開催場所 京都学・歴史館、府立大学、府立医科大学、教養教育共同化施設「稲盛記念会館」 開催内容 記念式典、大学等研究活動紹介・小中高生向け体験教室、にぎわい・文化交流ゾーン、企画展示 来場者数 約1,500人 医大会場約1,200人 (2) 大学・企業等との連携事業 各大学・企業施設等において、明治150年をテーマにしたイベント、企画展示等を実施した。</p> <p>3 執行額 8,176,892円 (うち委託料 7,947,020円)</p>
		<p>明治150年情報発信事業 (企画総務課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 明治150年関連事業の情報を広く発信する。</p> <p>2 施策の実施状況 明治150年関連事業の情報をリアルタイムに発信するポータルサイトを構築するとともに、テレビやラジオ等におけるスポット放送や新聞広告等を活用し、戦略的な広報を実施した。</p> <p>3 執行額 1,757,400円 (うち委託料 1,229,600円)</p>	<p>1 施策の趣旨等 明治150年関連事業の情報を広く発信する。</p> <p>2 施策の実施状況 明治150年関連事業の情報をリアルタイムに発信するポータルサイトを構築するとともに、テレビやラジオ等におけるスポット放送や新聞広告等を活用し、戦略的な広報を実施した。</p> <p>3 執行額 1,757,400円 (うち委託料 1,229,600円)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	京都RESAS事業 (企画総務課 情報政策課 企画統計課)	<p>1 施策の趣旨等            新たな情報通信技術やオープンデータ等の活用による行政の変革と府民との連携・協働による地域の活性化のため、様々なデータや情報を蓄積・共有し、多様な主体との連携・協働による「スマート京都」を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況            (1) オープンデータ推進事業            インターネット上で京都府に関するオープンデータ等府全体の情報を誰でもワンストップで見ることができ、容易にデータ分析をすることのできるサイト「京都データストア」の運営を行った。            ・京都データストアのデータセット数 491種類 10,965件</p> <p>(2) オープンデータ利活用事業            ・データを読み解き、有用な知見を引き出すことで、より正確で質の高い府民サービスを創造する「京都府データサイエンティスト」を新たに12人養成した。            ・データサイエンティストが所属を超えて集い、政策課題に取り組む「京都データサイエンスラボ」を運営した。            ・地域の課題解決とイノベーション創造に取り組む人々と、全国的に地域課題とされている「モビリティ」「国際観光」「農業」というテーマで、コンテスト・ワークショップを開催した。</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">6,000,000円 (うち委託料 5,723,260円)</span></p>
			働き方改革推進事業 (企画総務課 情報政策課)	<p>1 施策の趣旨等            業務の効率化やペーパーレス化等を通じて、府庁における働き方改革を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況            効率化及び省力化が図れる業務について、モデル的に2所属を選定し、業務プロセスの改善支援等を検討・実施した。</p> <p>(1) 企画総務課            (ア) 対象業務 主管課業務（部所管事務の総合調整、人事及び組織、部の予算経理）            (イ) 支援内容・成果 主管課で行う5業務について、エクセルテンプレート活用による業務の標準化モデルづくりを実施。業務引継の簡略化や事務ミスの削減、年間36.2時間削減の効果。</p> <p>(2) 循環型社会推進課            (ア) 対象業務 産業廃棄物収集運搬の許可申請、届出等</p>

			<p>改元対応庁内システム 改修事業</p> <p>〔職員総務課 税務課 情報政策課 文化政策室 大学政策課 中小企業総合 支援助理課 監理検査課 指導河川防宅課 砂湾企画課 港湾管理課 人事委員会事務局 警察本部〕</p> <p>「明日の京都」推進事業 (計画推進課)</p>	<p>(イ) 支援内容・成果 府ホームページにおいて、申請手続きを解説する動画の配信や窓口の予約状況の掲載、オンライン予約を実施。窓口対応時間や電話問合せ件数が減少するとともに、提出された申請書の精度が向上したことで許可までの時間が短縮。</p> <p>3 執行額 4,753,020円 (うち委託料 4,465,800円)</p> <p>1 施策の趣旨等 改元に対応するため、税務電算トータルシステム、運転者管理システム等の情報システムについて、所要の改修を行った。</p> <p>2 施策の実施状況 改元に伴うプログラムの改修 30システム</p> <p>3 執行額 72,181,215円 (うち委託料66,988,713円)</p> <p>1 施策の趣旨等 「明日の京都」長期ビジョン(10年～20年後を展望)で描いた府社会の姿を見据え、今後取り組むべき具体方策や数値目標を盛り込んだ「中期計画」及び4つの広域振興局ごとに地域の将来像を示した「地域振興計画」の総合的な推進を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 「明日の京都」の進捗等を踏まえた課題や方向性について助言を得る第三者委員会を運営するとともに、目指す社会の実現に府が向かっているかどうかを測るための手段である京都指標のうち、府民の生活実態や意識について、府民意識調査を実施した。 京都府「明日の京都」第三者委員会の開催 1回 府民意識調査の実施(郵送アンケート形式) 対象 4,900人</p> <p>3 執行額 4,957,882円 (うち委託料 2,980,800円)</p>
--	--	--	---	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>新しい基本計画等検討事業 (計画推進課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 明日の京都の「中期計画」、「地域振興計画」が、平成30年度末で計画期間満了となることを見据え、府民とともに、新たな京都府の将来像を描き、夢のある計画を策定する。</p> <p>2 施策の実施状況 新しい総合計画の策定に要する有識者会議や府民意見交換会を開催するとともに、アクションプランによる施策の検討を行った。 新総合計画策定懇話会 3回 新総合計画策定懇話会部会（生活部会・経済部会・文教部会）計12回 府民意見交換会（京都市内及び各広域振興局管内）計5回 参加者 約1,400人 アクションプランによる施策の検討・推進 計19プラン</p> <p>3 執 行 額 8,811,260円</p>
			<p>文化庁京都移転促進事業 (文化政策室)</p>	<p>1 施策の趣旨等 文化庁の京都への全面的な移転を円滑に進めるため、府・市・京都商工会議所等の連携による取組等を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 文化庁京都移転準備実行委員会において、アイデアコンテストやシンポジウム、気運醸成活動を行った。</p> <p>3 執 行 額 4,849,728円 (うち負担金 4,500,000円)</p>
			<p>京都・和食文化推進会議運営事業 (文化芸術課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 和食のユネスコ無形文化遺産登録を踏まえ、オール京都で和食文化の保護等に取り組む体制のもとで、和食文化の保護・継承・発展を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 京都に集積する和食文化に関連する団体等の取組を促進し、オール京都で和食文化の保護・継承・発展等に取り組むため、「京都・和食文化推進会議」において和食文化の推進に貢献した個人、団体を表彰した。 京都に集積する和食文化に関連する団体等の取組を促進し、オール京都で和食文化の保護・継承・発展等に取り組むため、「京都・和食文化推進会議」において和食文化の推進に貢献した個人、団体を表彰した。</p>

			<p>会 員 数 271団体・人 表彰者数 和食文化京都大賞 2 件、京都和食文化賞10件</p> <p>3 執 行 額 697,871円</p> <p>1 施策の趣旨等 京都の活性化を推進するため、京都に学ぶ学生たちが力を合わせ、行政、経済界、地域と幅広く連携しながら、京都の学生文化や学生の熱気あふれる大学のまちを全国に発信する「京都学生祭典」の開催を支援するため、第16回京都学生祭典実行委員会に対して助成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都学生祭典参加学生数</td> <td>2,000人（平成30年度）</td> <td>1,570人</td> </tr> <tr> <td>地域での交流活動回数</td> <td>750回（平成30年度）</td> <td>278回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 産学公連携のもと、京都の学生たちが中心となり第16回京都学生祭典が開催され、10月の本祭や1ヵ月前フェスティバルの実施など約16万人の来場者を集めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーでの踊り披露等、京都のまちに賑わいを創り、活性化に寄与した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開 催 日</th> <th>会 場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本祭</td> <td>平成30年10月 7 日</td> <td>平安神宮・岡崎周辺</td> <td>約154,000人</td> </tr> <tr> <td>1ヵ月前フェスティバル</td> <td>平成30年 9 月 1 日</td> <td>京都国際マンガミュージアム</td> <td>約2,300</td> </tr> <tr> <td>企画参加者数</td> <td>大学</td> <td>短期大学</td> <td>専修学校</td> <td>学生数</td> </tr> <tr> <td>実行委員数</td> <td>24</td> <td>1</td> <td>－</td> <td>281人</td> </tr> <tr> <td>「京炎そでふれ！」おどり手</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1,105</td> </tr> <tr> <td>短期ボランティアスタッフ</td> <td>32</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1,570</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 執 行 額 5,500,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 大学等が市町村と連携し、当該市町村をフィールドとして取り組む大学等の授業や研究活動等のプロジェクトを支援することにより、京都全体をキャンパス化し、地域や企業と結び付いた教育環境を整備する。</p>	指 標	目 標	実 績	京都学生祭典参加学生数	2,000人（平成30年度）	1,570人	地域での交流活動回数	750回（平成30年度）	278回		開 催 日	会 場	来場者数	本祭	平成30年10月 7 日	平安神宮・岡崎周辺	約154,000人	1ヵ月前フェスティバル	平成30年 9 月 1 日	京都国際マンガミュージアム	約2,300	企画参加者数	大学	短期大学	専修学校	学生数	実行委員数	24	1	－	281人	「京炎そでふれ！」おどり手	23	1	3	1,105	短期ボランティアスタッフ	32	1	2	184	計	43	2	5	1,570
指 標	目 標	実 績																																															
京都学生祭典参加学生数	2,000人（平成30年度）	1,570人																																															
地域での交流活動回数	750回（平成30年度）	278回																																															
	開 催 日	会 場	来場者数																																														
本祭	平成30年10月 7 日	平安神宮・岡崎周辺	約154,000人																																														
1ヵ月前フェスティバル	平成30年 9 月 1 日	京都国際マンガミュージアム	約2,300																																														
企画参加者数	大学	短期大学	専修学校	学生数																																													
実行委員数	24	1	－	281人																																													
「京炎そでふれ！」おどり手	23	1	3	1,105																																													
短期ボランティアスタッフ	32	1	2	184																																													
計	43	2	5	1,570																																													
		<p>ひと ひと 1まち1キャンパス事業 (大学政策課)</p>																																															

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																																																																																														
	円	円		<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">大学と市町村との連携事業数</td> <td style="text-align: center;">18プロジェクト</td> <td style="text-align: center;">18プロジェクト</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 大学・地域連携プロジェクトへの助成</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">大学名</td> <td style="text-align: center;">プロジェクト数</td> <td style="text-align: center;">連携市町村名</td> <td style="text-align: center;">補助金</td> </tr> <tr> <td>京都大学</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>宮 津 市</td> <td style="text-align: right;">500,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>木津川市</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>南 丹 市</td> <td style="text-align: right;">676,000</td> </tr> <tr> <td>京都教育大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>笠 置 町</td> <td style="text-align: right;">503,000</td> </tr> <tr> <td>福知山公立大学</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>福知山市</td> <td style="text-align: right;">2,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>舞 鶴 市</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>伊 根 町</td> <td style="text-align: right;">400,000</td> </tr> <tr> <td>立命館大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>南 丹 市</td> <td style="text-align: right;">600,000</td> </tr> <tr> <td>龍谷大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>福知山市</td> <td style="text-align: right;">1,986,000</td> </tr> <tr> <td>龍谷大学他8大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>京丹後市</td> <td style="text-align: right;">1,875,000</td> </tr> <tr> <td>龍谷大学他2大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>亀 岡 市</td> <td style="text-align: right;">944,000</td> </tr> <tr> <td>京都産業大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>綾 部 市</td> <td style="text-align: right;">389,000</td> </tr> <tr> <td>京都文教大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>宇 治 市</td> <td style="text-align: right;">750,000</td> </tr> <tr> <td>関西大学</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>京丹波町</td> <td style="text-align: right;">150,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>八 幡 市</td> <td style="text-align: right;">2,000,000</td> </tr> <tr> <td>京都造形芸術大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>亀 岡 市</td> <td style="text-align: right;">2,000,000</td> </tr> <tr> <td>大阪国際大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>南山城村</td> <td style="text-align: right;">170,000</td> </tr> <tr> <td>大谷大学</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>南 丹 市</td> <td style="text-align: right;">360,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td></td> <td style="text-align: right;">16,403,000</td> </tr> </table> <p>(2) 市町村大学生等受入施設整備への助成</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">市町村名</td> <td style="text-align: center;">事業対象施設名</td> <td style="text-align: center;">事業内容</td> <td style="text-align: center;">補助金</td> </tr> <tr> <td>笠 置 町</td> <td>笠置いこいの館他</td> <td>長机・椅子等の整備</td> <td style="text-align: right;">255,000円</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">16,658,000円 (補助金)</p>	指 標	目 標	実 績	大学と市町村との連携事業数	18プロジェクト	18プロジェクト	大学名	プロジェクト数	連携市町村名	補助金	京都大学	3	宮 津 市	500,000円			木津川市	1,000,000			南 丹 市	676,000	京都教育大学	1	笠 置 町	503,000	福知山公立大学	3	福知山市	2,000,000			舞 鶴 市	100,000			伊 根 町	400,000	立命館大学	1	南 丹 市	600,000	龍谷大学	1	福知山市	1,986,000	龍谷大学他8大学	1	京丹後市	1,875,000	龍谷大学他2大学	1	亀 岡 市	944,000	京都産業大学	1	綾 部 市	389,000	京都文教大学	1	宇 治 市	750,000	関西大学	2	京丹波町	150,000			八 幡 市	2,000,000	京都造形芸術大学	1	亀 岡 市	2,000,000	大阪国際大学	1	南山城村	170,000	大谷大学	1	南 丹 市	360,000	計	18		16,403,000	市町村名	事業対象施設名	事業内容	補助金	笠 置 町	笠置いこいの館他	長机・椅子等の整備	255,000円
指 標	目 標	実 績																																																																																																
大学と市町村との連携事業数	18プロジェクト	18プロジェクト																																																																																																
大学名	プロジェクト数	連携市町村名	補助金																																																																																															
京都大学	3	宮 津 市	500,000円																																																																																															
		木津川市	1,000,000																																																																																															
		南 丹 市	676,000																																																																																															
京都教育大学	1	笠 置 町	503,000																																																																																															
福知山公立大学	3	福知山市	2,000,000																																																																																															
		舞 鶴 市	100,000																																																																																															
		伊 根 町	400,000																																																																																															
立命館大学	1	南 丹 市	600,000																																																																																															
龍谷大学	1	福知山市	1,986,000																																																																																															
龍谷大学他8大学	1	京丹後市	1,875,000																																																																																															
龍谷大学他2大学	1	亀 岡 市	944,000																																																																																															
京都産業大学	1	綾 部 市	389,000																																																																																															
京都文教大学	1	宇 治 市	750,000																																																																																															
関西大学	2	京丹波町	150,000																																																																																															
		八 幡 市	2,000,000																																																																																															
京都造形芸術大学	1	亀 岡 市	2,000,000																																																																																															
大阪国際大学	1	南山城村	170,000																																																																																															
大谷大学	1	南 丹 市	360,000																																																																																															
計	18		16,403,000																																																																																															
市町村名	事業対象施設名	事業内容	補助金																																																																																															
笠 置 町	笠置いこいの館他	長机・椅子等の整備	255,000円																																																																																															

<p>3 交通対策費 (P80)</p>	<p>2,923,291,000 (4,050,028,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 577,490,000 J R 奈良線複線 化・高速化整備 事業費 4,863,000 北近畿タンゴ鉄 道災害復旧事業 費 144,401,000 北近畿タンゴ鉄 道緊急防災対策 強化事業費 154,000,000 鉄道駅利便性向 上整備事業費 142,910,000 地域公共交通網 再構築事業費 8,316,000 鉄道施設耐震強 化事業費 7,000,000 鉄道軌道安全輸 送設備等整備事 業費 116,000,000</p>	<p>2,649,400,943 (3,340,633,382) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 10,575,190 繰越金 16,078,152 府債 1,850,000,000 一般財源 772,747,601</p>	<p>J R 奈良線複線化・高 速化整備事業 (交通政策課)</p> <p>北近畿タンゴ鉄道支援 事業 (交通政策課)</p> <p>北近畿タンゴ鉄道災害 復旧事業 (交通政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 J R 奈良線複線化整備に向けた取組を沿線市町と協働して実施し、沿線地域の利便性向上による地域活性化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 複線化・高速化第二期事業に係る複線化本体事業（鉄道施設設計、線増工事）及び複線化に伴う関連事業（玉水駅、新田駅及び六地藏駅）の支援を行った。</p> <p>3 執行額 1,601,873,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 安心・安全・快適性を確保するための基盤部分（インフラ）を担う北近畿タンゴ鉄道株式会社への支援及び平成30年7月豪雨災害で経営に大きな影響を受けたWILLER TRAINS株式会社への支援を行う。</p> <p>指標：年間利用人数 目標：200万人 実績：165万人</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 基盤部分（線路・電路・車両）の維持管理等に係る経費に対しての支援を行い、安全対策の向上を図った。 (2) 平成30年7月豪雨災害による運行収入の減少及び代行バス運行経費等に対して支援を行った。</p> <p>3 執行額 378,876,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 平成29年の台風18号及び台風21号により被災した北近畿タンゴ鉄道施設の復旧に対して支援し、利用者の安心・安全の確保を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 応急工事により速やかな運行再開を図るとともに、本復旧工事により安心・安全な運行の確保を図った。</p> <p>3 執行額 60,224,469円 (補助金)</p>
--------------------------	---	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
	円	円	鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業 (交通政策課)	<p>1 施策の趣旨等            府域における交通拠点となる鉄道駅舎を対象に、バリアフリー化のための整備を行う事業者に対して助成し、高齢者・障害者等の移動の円滑化を図る。</p> <p>指標：3千人／日以上の利用がある駅舎のうち段差解消済の割合            共通目標※：100%（令和2年度まで） 実績：88.7%            ※鉄道駅利便性向上整備事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: left;">施行場所</td> <td style="text-align: right;">補助金</td> </tr> <tr> <td>J R 木 幡 駅</td> <td style="text-align: right;">75,720,000円</td> </tr> <tr> <td>J R 桃 山 駅</td> <td style="text-align: right;">12,361,000</td> </tr> <tr> <td>J R 山 崎 駅</td> <td style="text-align: right;">5,396,000</td> </tr> <tr> <td>J R 京 都 駅</td> <td style="text-align: right;">1,241,000</td> </tr> <tr> <td>近 鉄 伊 勢 田 駅</td> <td style="text-align: right;">4,335,000</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">99,053,000円 (補助金)</span></p>	施行場所	補助金	J R 木 幡 駅	75,720,000円	J R 桃 山 駅	12,361,000	J R 山 崎 駅	5,396,000	J R 京 都 駅	1,241,000	近 鉄 伊 勢 田 駅	4,335,000
施行場所	補助金															
J R 木 幡 駅	75,720,000円															
J R 桃 山 駅	12,361,000															
J R 山 崎 駅	5,396,000															
J R 京 都 駅	1,241,000															
近 鉄 伊 勢 田 駅	4,335,000															
			鉄道駅利便性向上整備事業 (交通政策課)	<p>1 施策の趣旨等            鉄道駅の総合的な改善を行う事業者に対して助成し、鉄道利用旅客の利便性、安全性の向上等を図る。</p> <p>指標：3千人／日以上の利用がある駅舎のうち段差解消済の割合            共通目標※：100%（令和2年度まで） 実績：88.7%            ※鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: left;">施行場所</td> <td style="text-align: right;">補助金</td> </tr> <tr> <td>阪急／京福西院駅</td> <td style="text-align: right;">78,648,176円</td> </tr> <tr> <td>J R 西 大 路 駅</td> <td style="text-align: right;">20,905,000</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">99,553,176円 (補助金)</span></p>	施行場所	補助金	阪急／京福西院駅	78,648,176円	J R 西 大 路 駅	20,905,000						
施行場所	補助金															
阪急／京福西院駅	78,648,176円															
J R 西 大 路 駅	20,905,000															

		<p>生活交通ネットワーク 構築支援事業 (交通政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 過疎地域等における住民の交通確保を図るとともに、便利で使いやすい生活交通ネットワークの構築に向け、利用者・交通事業者・市町村・府等が協働し、利用者の視点に立った公共交通の改善を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 路線維持対策等補助事業 生活交通バス路線及び市町村運行確保バス等に対して助成し、生活交通の維持確保を図った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">補 助 金</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>路線維持対策補助金</td> <td style="text-align: right;">113路線</td> <td style="text-align: right;">319,020,000円</td> </tr> <tr> <td>車両購入費等補助金</td> <td style="text-align: right;">39両</td> <td style="text-align: right;">55,568,000</td> </tr> </table> <p>(2) 便利で使いやすい生活交通ネットワークの構築支援事業 交通事業者や市町村等との連携のもと、生活交通対策地域協議会や市町村が開催する地域公共交通会議などへの参画を通じて、利用促進策の検討やダイヤ、停留所、運行情報等の交通システムの改善を進めた。</p> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">375,118,000円 (うち補助金 374,588,000円)</p>		補 助 金		路線維持対策補助金	113路線	319,020,000円	車両購入費等補助金	39両	55,568,000											
	補 助 金																						
路線維持対策補助金	113路線	319,020,000円																					
車両購入費等補助金	39両	55,568,000																					
		<p>地域公共交通網再構築 事業 (交通政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 鉄道の駅及び駅周辺の賑わいの創出と公共交通の利用促進による地域の活性化にまちづくりの視点から取り組む市町村に支援を行い、地域住民の移動手段である公共交通の維持及び改善を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">施 行 場 所</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">実 施 内 容</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">補 助 金</td> </tr> <tr> <td>笠 置 駅</td> <td></td> <td>駅前広場の整備</td> <td style="text-align: right;">10,000,000円</td> </tr> <tr> <td>和 知 駅</td> <td></td> <td>駅舎、駅前広場の整備</td> <td style="text-align: right;">975,000</td> </tr> <tr> <td>山 家 駅</td> <td></td> <td>駐輪場の整備、駅前施設の改修</td> <td style="text-align: right;">7,713,000</td> </tr> <tr> <td>久 美 浜 駅</td> <td></td> <td>駅舎の整備</td> <td style="text-align: right;">5,500,000</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">24,188,000円 (補助金)</p>		施 行 場 所	実 施 内 容	補 助 金	笠 置 駅		駅前広場の整備	10,000,000円	和 知 駅		駅舎、駅前広場の整備	975,000	山 家 駅		駐輪場の整備、駅前施設の改修	7,713,000	久 美 浜 駅		駅舎の整備	5,500,000
	施 行 場 所	実 施 内 容	補 助 金																				
笠 置 駅		駅前広場の整備	10,000,000円																				
和 知 駅		駅舎、駅前広場の整備	975,000																				
山 家 駅		駐輪場の整備、駅前施設の改修	7,713,000																				
久 美 浜 駅		駅舎の整備	5,500,000																				
		<p>地域公共交通高度化推 進事業 (交通政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 地域の実情に応じた公共交通の構築に向けた支援及び先進的取組を推進する。</p>																				

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	北部地域公共交通復興支援事業 (交通政策課)	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 地域でつくり・支える公共交通システム支援事業 地域公共交通網形成計画等に基づいて行われる交通網再編に対して支援を行った。</p> <p>(2) コミュニティ支援マルチ交通事業 住民の地域内輸送に買い物代行や見守り等の生活支援サービスを付加した交通システムの構築及びそのシステムの利用促進に資するICTシステムの整備に対して支援を行った。</p> <p>(3) 次世代モビリティ交通推進事業 電動小型低速車両を活用した先進的な交通モデルの実証実験を行った。</p> <p>3 執 行 額 5,722,148円 (うち委託料 4,714,380円)</p> <p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨により被災した北部地域の復興支援のため、観光誘客の促進を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 北部地域の交通事業者が共同販売する観光客の周遊性及び利便性を高める周遊フリーパスの発行に対して支援した。</p> <p>3 執 行 額 4,793,150円 (補助金)</p>
5 男女共同参画推進費 (P82)	101,339,000 (168,211,000)	101,117,033 (166,893,263) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 26,750,000 繰越金 6,457,000 諸収入 1,543,000 一般財源 66,367,033	マザーズジョブカフェ推進事業 (男女共同参画課)	<p>1 施策の趣旨等 再就職に向けたカウンセリング、職業紹介及び保育情報の提供等を行う「京都ジョブパークマザーズジョブカフェ」を運営するとともに、「北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ」での相談等により、子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じて、子育てと就業をワンストップで支援する。</p> <p>指標：相談者のうち、就職内定者数 目標：1,400人 実績：1,576人</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 利用状況・就職内定者数 延べ相談者数 18,262人 (1日平均 62人) 延べ利用者数 27,525 就職内定者数 1,576</p>

			<p>京都ウィメンズベース事業 (男女共同参画課)</p>	<p>(2) ママ再就職フェア 仕事と子育ての両立が可能な企業の出展による就職説明会を実施した。 開催回数 1回 出展企業数 30社 来所者数 117人</p> <p>(3) 一時保育の実施 京都ジョブパークマザーズジョブカフェ及び北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ内の保育ルームで、就職活動中保育所が決まるまでの一時保育を実施した。 場 所 延べ利用者数 京都ジョブパークマザーズジョブカフェ 1,182人 北京都ジョブパークマザーズジョブカフェ 571</p> <p>(4) マザーズジョブカフェ巡回相談 マザーズジョブカフェへの来所が難しい女性を対象に府内6地域で就職に関する巡回相談を実施した。 開催回数 84回 延べ相談者数 111人</p> <p>3 執 行 額 44,706,033円 (うち委託料 41,361,897円)</p> <p>1 施策の趣旨等 「輝く女性応援京都会議」のもと、京都労働局、府、京都市、経済団体が一体となって運営する女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」を中心に、企業における女性の活躍を重点的に支援する。</p> <table border="1" data-bbox="1075 973 2083 1085"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業主行動計画策定企業数（従業員300人以下の企業）</td> <td>40社</td> <td>40社</td> </tr> <tr> <td>「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 大学連携京都府リカレント事業 出産・育児等により離職した女性を対象に、大学と連携したリカレント（学び直し・再就職支援）を実施した。 連携大学 京都女子大学 参加者 20人</p> <p>(2) 女性中核人材育成研修 企業の意思決定に参画できる役職（中核人材）への女性の登用を推進するため、研修を実施した。</p>	指 標	目 標	実 績	事業主行動計画策定企業数（従業員300人以下の企業）	40社	40社	「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数	50	50
指 標	目 標	実 績											
事業主行動計画策定企業数（従業員300人以下の企業）	40社	40社											
「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数	50	50											

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>開催回数 7回            参加者 延べ347人</p> <p>(3) 一般事業主行動計画策定支援            企業訪問による支援 278社</p> <p>(4) 女性活躍・ワーク・ライフ・バランス企業応援チームによる中小企業の取組支援            「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業の認証を進めるため、社会保険労務士等からなる女性活躍・ワーク・ライフ・バランス企業応援チームが中小企業を訪問し、中小企業のニーズに合わせた相談、研修等を実施した。            ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業数 29社 累計 2,640社            「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業数 50 累計 407</p> <p>(5) 管理職・人事担当者向け研修            女性の部下を持つ管理職・人事担当者向けに女性活躍推進研修を実施した。            開催回数 3回            参加者 延べ59人</p> <p>(6) 女性社員向け研修            スキルアップや就業継続を目的とした研修を実施した。            開催回数 2回            参加者 延べ21人</p> <p>(7) リケジョフォーラム            女子高校生を対象に理工系分野における働き方等の研修を実施した。            開催回数 3回            参加者 延べ113人</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">39,000,000円 (うち委託料 31,450,306円)</span></p>
			<p>女性の起業・経営支援事業            (男女共同参画課)            (中小企業総合支援課)            (ものづくり振興課)</p>	<p>1 施策の趣旨等            アイデアを持った女性の社会参画を促し、女性起業家の裾野を拡げるため、アイデアのブラッシュアップや顕彰を行い、事業化までを支援する。</p> <p>2 施策の実施状況            (1) 起業アイデアブラッシュアップ支援            「女性アントレプレナーサポートチーム」により、起業に係る基礎セミナー等を実施するとともに、「中小企業応援隊」との連携により、女性の起業アイデアのブラッシュアップを図る。</p>

			<p>ダブルケアサポート事業 (男女共同参画課)</p>	<p>(2) 京都女性起業家賞（アントレプレナー賞） 女性の起業モデルとなる事業を公募し、顕彰した。 受賞数 10件</p> <p>(3) ビジネスプランの事業化支援 ア 女性起業家を対象とし、専門家による優秀なプランの事業化に向けた計画策定や課題解決等を支援した。 イ ロールモデルとなる女性起業家や支援機関等との交流・意見交換を通じた事業拡大や、ネットワーク構築を図るための交流会を実施した。</p> <p>3 執行額 12,000,000円 (うち委託料 9,784,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 晩婚化・晩産化の進行により子育てと同時に介護を担う「ダブルケア」が増えていることから、窓口相談・支援体制の強化、コミュニティづくりを推進するとともに、企業への出張セミナー・相談を実施する。  指標：ダブルケアの相談・セミナー実施企業数 目標：300社 実績：300社</p> <p>2 施策の実施状況 ダブルケアによる離職を防ぐとともに、企業の人材不足に対応するため、企業訪問による仕事とダブルケアの両立に係るセミナーや相談を実施した。</p> <p>3 執行額 4,000,000円 (委託料)</p>
			<p>ドメスティック・バイオレンス対策事業 (男女共同参画課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 ドメスティック・バイオレンス（DV）について、広く府民への意識啓発を行うことで、被害者支援や防止を図る。  指標：自立支援計画を策定（概ね2週間以上の家庭支援総合センター入所者）し継続的に支援する者 目標：50件 実績：58件</p> <p>2 施策の実施状況 DVに関する講座の開催やグループカウンセリング等を実施し、被害者支援や被害の未然防止を図った。</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>(1) DV一般啓発講座 「DVを考えるつどい」を開催し、DV根絶の気運を醸成した。 講座数 2回 場 所 生涯学習施設・道の駅 ガレリアかめおか（亀岡市） 向日市女性活躍センター あすもあ（向日市） 受講者 延べ66人</p> <p>(2) 自立支援グループカウンセリング 自立支援の一環として、DV被害者同士が体験を共有しつつ専門のカウンセラーの援助を受けるグループカウンセリング等を実施した。 参加者 延べ56人</p> <p>(3) 「配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画」の改定 被害者自身や周囲による被害への気づきを促すとともに、地域における身近な相談から保護・社会的自立までの切れ目のない支援を図るため、基本計画を改定した。</p> <p>3 執 行 額 1,411,000円</p>
6 青少年育成費 (P82)	106,318,000 (258,939,000)	104,371,184 (256,737,137) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 15,018,602 一般財源 89,352,582	脱ひきこもり支援センター事業 (家庭支援課)	<p>1 施策の趣旨等 「脱ひきこもり支援センター」を中心に、ひきこもり状態にある者の早期把握、相談、社会適応訓練、自立までを一体的に支援する。  指標：ひきこもり支援を受けた者のうち、就職活動等へステップアップした人の割合 目標：50% 実績：25.3%</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「脱ひきこもり支援センター」の運営 設置年月日 平成29年4月1日 設置場所 家庭支援総合センター、福知山総合庁舎（北部サテライト） 支援コーディネーターの配置 5人 臨床心理士の配置 2</p> <p>(2) ひきこもり未支援者特別対策事業 地域の相談窓口である「チーム絆・地域チーム」を4箇所から6箇所に拡充するとともに、民生児童委員や民間支援団体等の協力を得て、平成29年度の実態調査により把握した未支援者の状況確認を行い、個々の状況を踏まえたアプローチを実施した。</p> <p>(3) ひきこもり相談・外出支援事業 ひきこもりの長期化を防ぐため、臨床心理士等を中心とした訪問応援チーム「チーム絆」が、ひきこもり状態にある当事者や家族への訪問相談等を行うとともに、早期支援特別班によるひきこもり状態にある児童生徒や家族等への早期アプローチを実施した。</p>

			非行少年等立ち直り支援事業 (家庭支援課)	<p>また、ひきこもり状態にある者の社会参加を促進するため、個々の希望に応じた社会適応訓練を実施する団体に対し補助するとともに、支援ネットワークの構築やひきこもり支援情報ポータルサイトの運営により、ひきこもり状態にある当事者間や支援者との交流、ネット相談等を実施した。</p> <p>さらに、ひきこもり状態にある者の自立を図るため、職親体験、ファイナンシャルプランナーによる将来設計セミナー等を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>「チーム絆」相談件数</td> <td>610件</td> </tr> <tr> <td>早期支援特別班支援件数</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金交付件数</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議参加団体</td> <td>35団体</td> </tr> <tr> <td>ネット相談件数</td> <td>85件</td> </tr> <tr> <td>職親登録事業所（民間協力事業所）</td> <td>105事業所</td> </tr> <tr> <td>職親事業参加者</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>将来設計セミナー参加者</td> <td>124</td> </tr> </table> <p>3 執行額 76,988,823円          (うち報酬 15,318,131円          委託料 40,826,748)</p> <p>1 施策の趣旨等          非行等の問題を抱える少年の立ち直りを支援し、再非行の防止を図る。</p> <p>指標：寄り添い型立ち直り支援を受けた少年のうち、復学や就労、生活環境等が改善した割合          目標：60% 実績：58%</p> <p>2 施策の実施状況          支援コーディネーターを中心とした「立ち直り支援チーム」を運営し、京都市や警察、学校、家庭裁判所等と緊密に連携して、少年一人ひとりに適した支援プログラムを作成し、社会奉仕活動や就労等の体験活動、学習支援の実施等により、非行等の問題を抱える少年の立ち直りを支援した。</p> <p>また、地域の民間団体との協働により、少年の学習支援や体験活動を行う「ユース・コミュニティ」を運営し、非行・再非行の未然防止を図った。</p> <p>(1) 「立ち直り支援チーム」の運営          設置場所 家庭支援総合センター、福知山総合庁舎（北部サテライト）          支援コーディネーターの配置 7人          臨床心理士の配置 1</p> <p>(2) 支援人数・体験受入登録事業所数          寄り添い型支援人数 64人</p>	「チーム絆」相談件数	610件	早期支援特別班支援件数	28	ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金交付件数	16	社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議参加団体	35団体	ネット相談件数	85件	職親登録事業所（民間協力事業所）	105事業所	職親事業参加者	10人	将来設計セミナー参加者	124
「チーム絆」相談件数	610件																			
早期支援特別班支援件数	28																			
ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金交付件数	16																			
社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議参加団体	35団体																			
ネット相談件数	85件																			
職親登録事業所（民間協力事業所）	105事業所																			
職親事業参加者	10人																			
将来設計セミナー参加者	124																			

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	青少年自画撮り被害対策事業 (家庭支援課)	<p>                         家庭裁判所との連携支援人数 37                          体験受入登録事業所数 181事業所                          (3) 非行少年等立ち直り支援ネットワーク推進連絡会議                          会議開催 2回                          (4) 「ユース・コミュニティ」の運営                          設置場所 京都市西京区、舞鶴市、綾部市、宇治市、亀岡市、長岡京市及び精華町                          参加者 延べ2,192人                     </p> <p>                         3 執 行 額 26,048,498円                          (うち報酬 16,804,400円)                          (うち委託料 5,250,000円)                     </p> <p>                         1 施策の趣旨等                          青少年の自画撮り被害や、ネットトラブルの防止を図る。                     </p> <p>                         2 施策の実施状況                          青少年の自画撮り被害防止のため、青少年健全育成条例を改正(平成30年7月17日施行)し、青少年自画撮り被害対策窓口に7月23日から8月31日までLINE電話相談対応を追加するとともに広報啓発を実施した。                     </p> <p>                         (1) 自画撮り相談                          青少年ネット被害相談(自画撮りに関する相談) 6件(うち条例施行後4件)                     </p> <p>                         (2) 広報啓発                          府民だより 平成30年8月号特集                          ラジオCM・新聞等による広報 3本                          リーフレット 162,000部                          公共機関(府内全中・高等学校、市町村、警察他)                          ポスター(B2版) 3,000部                          駅掲示、企業協力、公共機関(府内全中・高等学校、市町村、警察他)                          女子トイレ貼付用啓発シール 15,000部                          鉄道、企業協力、公共機関(府内全中・高等学校、市町村、警察他)                     </p> <p>                         3 執 行 額 1,333,863円                          (うち委託料 831,600円)                     </p>

<p><b>3 徴 税 費</b></p> <p>2 賦課徴収費 (P84)</p>	<p>1,613,930,000 (6,445,669,000)</p>	<p>1,585,897,961 (6,409,565,367)</p> <p>決算額の財源 内訳 一般財源 1,585,897,961</p>	<p>京都地方税機構分担金 (税 務 課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府及び府内市町村（京都市除く）の税業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平公正な税業務の一層の推進を図る。</p> <p>指標：徴収率 目標：98.9% 実績：99.0%</p> <p>2 施策の実施状況 各構成団体の滞納案件に係る徴収業務並びに法人関係税及び自動車関係税の課税業務を実施した。</p> <p>(1) 府税の滞納に係る整理状況 ※延滞金・加算金除く 移管件数 38,939件 移管額 2,150百万円 移管総額（繰越分含む） 3,138 収納額 2,060</p> <p>(2) 法人関係税の事務共同化の取組状況 ※市町村分除く 申告書の受付調定件数 82,238件 更正・決定、加算金決定件数 3,236</p> <p>(3) 自動車関係税の事務共同化の取組状況 ※市町村分除く 申告書等の受付件数 272,034件</p> <p>3 執 行 額 1,585,897,961円 (分担金)</p>
<p><b>4 市町村振興費</b></p> <p>2 自治振興費 (P86)</p>	<p>2,193,797,000 (3,015,048,000)</p>	<p>2,166,451,406 (2,985,792,577)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 17,387,035 寄 附 金 21,671,000 繰 入 金 501,500,000 府 債 1,000,000,000</p>	<p>市町村未来づくり交付金 (自治振興課) (企 画 参 事)</p>	<p>1 施策の趣旨等 地方分権時代にふさわしい自立した市町村の未来づくりを推進していくため、みらい戦略一括交付金により、市町村等が行う戦略的、主体的かつ自立的なプロジェクトの取組を支援するとともに、市町村体制づくり支援交付金により、市町村の広域連携や、公共施設マネジメントの取組を支援する。</p> <p>(1) みらい戦略一括交付金 目標：みらい戦略一括交付金等を通じ、全市町村で自立的な課題解決を図るためのプロジェクト創出を支援 実績：全市町村を訪問、ヒアリングを実施し、10市町で新規プロジェクトによる新たな課題解決の取組を開始</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																																																													
	円	円																																																															
		一般財源 625,893,371		<p>(2) 市町村体制づくり支援交付金</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: right;">実 績</td> </tr> <tr> <td>公共施設の運営改善、あり方の見直しを支援</td> <td style="text-align: right;">12市町村</td> </tr> <tr> <td>事務の共同処理、業務連携による効率化を支援</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> <tr> <td>行政サービス提供形態の工夫を支援</td> <td style="text-align: right;">8</td> </tr> </table> <p>(3) 地域力再生交付金</p> <p>指標：地域力再生に取り組む活動の参画者数          共通目標※：90,000人 実績：91,773人          ※地域力再生支援事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) みらい戦略一括交付金</p> <p>全市町村においてプロジェクトを実施し、戦略的な未来づくりに向けた取組の推進に寄与した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">件数</th> <th style="text-align: right;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境保全対策プロジェクト</td> <td style="text-align: right;">6 件</td> <td style="text-align: right;">53,919,000円</td> </tr> <tr> <td>健康福祉・子育て支援対策プロジェクト</td> <td style="text-align: right;">25</td> <td style="text-align: right;">473,276,000</td> </tr> <tr> <td>地域活性化・地域産業対策プロジェクト</td> <td style="text-align: right;">10</td> <td style="text-align: right;">186,634,000</td> </tr> <tr> <td>安心・安全対策プロジェクト</td> <td style="text-align: right;">29</td> <td style="text-align: right;">443,001,000</td> </tr> <tr> <td>教育・文化振興対策プロジェクト</td> <td style="text-align: right;">5</td> <td style="text-align: right;">44,816,000</td> </tr> <tr> <td>交流人口増加・移住定住促進プロジェクト</td> <td style="text-align: right;">19</td> <td style="text-align: right;">272,632,000</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ支援等その他プロジェクト</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td style="text-align: right;">225,722,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">107</td> <td style="text-align: right;">1,700,000,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市町村体制づくり支援交付金</p> <p>厳しい財政状況におかれている市町村の、自立した行財政運営の実現を図る取組を支援し、広域連携・公共施設マネジメント等の推進に寄与した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">13市9町1村</td> <td style="text-align: right;">200,000,000円</td> </tr> </table> <p>(3) 地域力再生交付金</p> <p>住民を中心とした地域団体の主体的な活動の推進及び活性化に寄与した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">件数</th> <th style="text-align: right;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境保全活動</td> <td style="text-align: right;">35件</td> <td style="text-align: right;">12,192,000円</td> </tr> <tr> <td>子育て支援活動</td> <td style="text-align: right;">66</td> <td style="text-align: right;">14,646,000</td> </tr> <tr> <td>共助型福祉活動</td> <td style="text-align: right;">59</td> <td style="text-align: right;">13,351,000</td> </tr> <tr> <td>防災・防犯活動</td> <td style="text-align: right;">16</td> <td style="text-align: right;">6,035,000</td> </tr> <tr> <td>地域美化活動</td> <td style="text-align: right;">6</td> <td style="text-align: right;">1,402,000</td> </tr> <tr> <td>地域産業おこし</td> <td style="text-align: right;">54</td> <td style="text-align: right;">28,764,000</td> </tr> <tr> <td>地域商業の活性化</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td style="text-align: right;">8,962,000</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	実 績	公共施設の運営改善、あり方の見直しを支援	12市町村	事務の共同処理、業務連携による効率化を支援	5	行政サービス提供形態の工夫を支援	8		件数	金 額	環境保全対策プロジェクト	6 件	53,919,000円	健康福祉・子育て支援対策プロジェクト	25	473,276,000	地域活性化・地域産業対策プロジェクト	10	186,634,000	安心・安全対策プロジェクト	29	443,001,000	教育・文化振興対策プロジェクト	5	44,816,000	交流人口増加・移住定住促進プロジェクト	19	272,632,000	コミュニティ支援等その他プロジェクト	13	225,722,000	計	107	1,700,000,000	13市9町1村	200,000,000円		件数	金 額	環境保全活動	35件	12,192,000円	子育て支援活動	66	14,646,000	共助型福祉活動	59	13,351,000	防災・防犯活動	16	6,035,000	地域美化活動	6	1,402,000	地域産業おこし	54	28,764,000	地域商業の活性化	13	8,962,000
指 標	実 績																																																																
公共施設の運営改善、あり方の見直しを支援	12市町村																																																																
事務の共同処理、業務連携による効率化を支援	5																																																																
行政サービス提供形態の工夫を支援	8																																																																
	件数	金 額																																																															
環境保全対策プロジェクト	6 件	53,919,000円																																																															
健康福祉・子育て支援対策プロジェクト	25	473,276,000																																																															
地域活性化・地域産業対策プロジェクト	10	186,634,000																																																															
安心・安全対策プロジェクト	29	443,001,000																																																															
教育・文化振興対策プロジェクト	5	44,816,000																																																															
交流人口増加・移住定住促進プロジェクト	19	272,632,000																																																															
コミュニティ支援等その他プロジェクト	13	225,722,000																																																															
計	107	1,700,000,000																																																															
13市9町1村	200,000,000円																																																																
	件数	金 額																																																															
環境保全活動	35件	12,192,000円																																																															
子育て支援活動	66	14,646,000																																																															
共助型福祉活動	59	13,351,000																																																															
防災・防犯活動	16	6,035,000																																																															
地域美化活動	6	1,402,000																																																															
地域産業おこし	54	28,764,000																																																															
地域商業の活性化	13	8,962,000																																																															

				<p>農村・都市交流活動 21 6,378,000</p> <p>地域スポーツ振興 9 3,835,000</p> <p>地域文化振興 87 26,452,000</p> <p>地域行催事の再興 15 7,560,000</p> <p>移住促進プログラム 9 12,291,000</p> <p>大雨被災地支援活動 489 77,987,000</p> <p>その他特に認める活動 58 18,991,000</p> <p>計 937 238,846,000</p>
				<p>3 執行額 2,138,846,000円 (交付金)</p>
			「コミュニティ・コンビニ」整備事業 (企画参事)	<p>1 施策の趣旨等 過疎・高齢化が進む地域の暮らしを支える「コミュニティ・コンビニ」(小さな拠点の京都モデル)を3市1村で構築する。 実施地域 福知山市(三和)、南丹市(胡麻)、木津川市(加茂)、南山城村</p> <p>2 施策の実施状況 生活関連サービスがワンストップで受けられる「コミュニティ・コンビニ」において市町村が実施する拠点整備について、2市に対して助成した。</p> <p>3 執行額 1,626,000円 (補助金)</p>
			地域力再生支援事業 (企画参事)	<p>1 施策の趣旨等 住民が互いの信頼と絆のもと、協働して、地域社会が直面している諸課題の解決に取り組んでいく地域力の再生を通じて、安心・安全で活力ある自立した社会づくりを進める。</p> <p>指標：地域力再生に取り組む活動の参画者数 共通目標※：90,000人 実績：91,773人 ※市町村未来づくり交付金(地域力再生交付金)と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 (1) テーマ別プラットフォームの推進 青少年、子育て、観光、文化、環境、過疎・限界集落、男女共同参画等のテーマごとに、活動団体と行政とが課題を共有し、課題解決のための知恵やアイデアを出し合い、府民発の新しい施策を創出した。 プラットフォーム設置数 71件 プラットフォーム活動による協働事業数 198</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>(2) 地域活動活発化支援  行政とNPOの協働推進の拠点となるパートナーシップセンターに、協働コーディネーターを配置し、地域力応援団事業の実施など、NPOと地域を結ぶマッチングやプラットフォーム活動等を支援することにより、自発的な地域力再生活動を支援した。  地域力応援団登録数 873件  協働・連携により新たに創出した事業数 126</p> <p>3 執 行 額 20,368,361円  (うち報酬 15,699,900円)</p>
			「公共員」配置推進事業 (企画参事)	<p>1 施策の趣旨等  特定の地域課題に対し、多様な主体との協働関係をつくり、社会システムとしての解決策の創出と推進をマネジメントするため、「まちの公共員」を配置する。   指標：地域が自立して課題を解決する組織や仕組みの構築  目標：3地域 実績：2地域（福知山市大江町、亀岡市河原林町）</p> <p>2 施策の実施状況  特定の地域課題解決に向けて、「まちの公共員」を2地域に配置し、地域住民が主体となって課題の整理や事業の具体化を考えるワークショップの開催等を行い、地域が自立して課題を解決するための組織や仕組みを構築した。   配置地域 地域課題 人数  福知山市大江町 協働の推進と情報発信の仕組みづくり 1人  亀岡市河原林町 「河原林まちづくり計画」の実現 1</p> <p>3 執 行 額 3,161,315円  (うち報酬 1,760,000円)</p>
			NPO・地域団体基盤強化事業 (企画参事)	<p>1 施策の趣旨等  組織基盤等の専門家による少人数制講座や伴走支援等により、NPO等地域活動団体の持続性強化やさらなる府民の参画を促進する。   指標：地域力再生団体が自立して資金調達を行う仕組みの構築  目標：10団体 実績：6団体</p>

				<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) きょうとNPOアカデミー事業 NPO法人が自らの運営を振り返り、ステップアップのための組織基盤強化や安定的な自主財源の確保を目指す塾（講座）を実施し、法人の持続的な事業運営やさらなる共感の高まり、先進性・専門性の深化へとつなげた。 受講団体 8団体</p> <p>(2) 民間力による地域力再生促進事業 資金調達に関心を持っている団体に対してファンドレイジングの考え方を知ってもらうために専門家によるセミナーを実施した。実際に取り組む団体に対しては、専門家による定期的な相談の機会を設け、自立できるように伴走支援を実施した。 専門家によるセミナー参加者 86人 定期相談会による伴走支援団体 25団体（本庁8、山城4、中丹6、丹後7）</p> <p>3 執行額 2,449,730円 (うち委託料 1,500,000円)</p>
5 選挙費				
3 知事選挙費 (P88)	532,741,000 (532,741,000)	532,718,365 (532,718,365) 決算額の財源 内訳 一般財源 532,718,365	知事選挙 (自治振興課)	<p>1 施策の趣旨等 平成30年4月15日任期満了に伴う京都府知事選挙であり、その概要は、次のとおりである。</p> <p>2 施策の実施状況 京都府知事選挙を適正に管理・執行した。 選挙期日 平成30年4月8日 選挙すべき定数 1人 立候補者数 2 当日の有権者数 2,092,500 投票者数 736,031 投票率 35.17%</p> <p>3 執行額 532,718,365円 (うち交付金 443,165,666円)</p>
4 府議会議員 補欠選挙費 (P88)	26,855,000 (26,855,000)	26,853,105 (26,853,105) 決算額の財源 内訳 一般財源 26,853,105	府議会議員補欠選挙 (自治振興課)	<p>1 施策の趣旨等 京都市伏見区、福知山市の各選挙区における京都府議会議員補欠選挙であり、その概要は、次のとおりである。</p> <p>2 施策の実施状況 各選挙区における京都府議会議員補欠選挙を適正に管理・執行した。</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>京都市伏見区選挙区 福知山市選挙区</p> <p>選 挙 期 日 平成30年4月8日 平成30年4月8日</p> <p>選挙すべき定数 1人 1人</p> <p>立 候 補 者 数 2 2</p> <p>当日の有権者数 223,621 64,392</p> <p>投 票 者 数 61,869 26,138</p> <p>投 票 率 27.67% 40.59%</p> <p>3 執 行 額 26,853,105円 (うち交付金 19,561,883円)</p>
5 府議会議員 選挙費 (P88)	342,000,000 (342,000,000)	340,105,571 (340,105,571) 決算額の財源 内訳 一般財源 340,105,571	府議会議員一般選挙 (自治振興課)	<p>1 施策の趣旨等 平成31年4月29日任期満了に伴う京都府議会議員一般選挙であり、その概要は、次のとおりである。</p> <p>2 施策の実施状況 京都府議会議員一般選挙を適正に管理・執行した。</p> <p>選 挙 期 日 平成31年4月7日</p> <p>選挙すべき定数 60人(25選挙区計)</p> <p>立 候 補 者 数 88</p> <p>当日の有権者数 1,671,276</p> <p>投 票 者 数 669,052</p> <p>投 票 率 40.03%</p> <p>3 執 行 額 340,105,571円 (うち交付金 283,998,370円)</p>
6 防 災 費 1 防災総務費 (P90)	1,159,432,000 (1,716,380,600) 翌年度への繰越 事業費繰越額 700,000,000 (原子力災害対策 施設等整備事業 費)	434,980,569 (990,861,695) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 414,031,086 一般財源 20,949,483	原子力防災対策事業 (原子力防災課)	<p>1 施策の趣旨等 適切な原子力防災対策の推進を図る。</p> <p>目標：原子力総合防災訓練を国や関係府県、UPZ（原子力発電所から概ね30km圏）内の市町等と合同で実施し、内閣府現地対策本部とテレビ会議にて住民避難の判断や、避難開始から広域避難先までの手順を確認の上、課題を検証し、避難計画等の実効性の向上を図る。</p>

			<p>原子力災害対策施設等 整備事業 (原子力防災課)</p>	<p>実績：原子力総合防災訓練を実施 (参加機関約40機関、約9,800人)</p> <p>2 施策の実施状況 原子力災害に備え、緊急時連絡網の管理運営、原子力防災資機材の整備及び避難訓練の実施等により、原子力防災体制の充実・強化を図った。</p> <p>(1) 原子力発電所緊急時安全対策事業 緊急時連絡網の管理運営や原子力防災資機材の整備 原子力発電所事故時の避難訓練等の実施</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子力総合防災訓練</td> <td>平成30年8月25日、26日</td> <td>京都市、福知山市、 舞鶴市、宮津市、 南丹市、京丹波町、 伊根町</td> </tr> <tr> <td>京都府総合防災訓練 原子力災害対応訓練</td> <td>平成30年9月2日</td> <td>綾部市</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 放射性物質拡散予測調査事業 原子力災害時における放射性物質の拡散予測の実施</p> <p>(3) 避難体制整備事業 車両除染プール等の整備 1 式 可搬型ゲート式放射線測定装置の整備 1 台</p> <p>3 執行額 159,731,174円</p> <p>1 施策の趣旨等 原子力発電所の周辺地域住民の安全確保のため、要配慮者施設や屋内退避施設の放射線防護工事及び資機材整備の支援並びに避難路の効果的な整備に向けた調査を実施する。</p> <p>指標：要配慮者施設等の放射線防護工事及び資機材整備の支援 目標：3箇所 実績：3箇所</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 要配慮者避難体制整備事業 原子力災害発生時に、即時避難が困難な要配慮者等が一時的に退避できる施設を確保するため、要配慮者施設等の放射線防護工事、資機材整備に助成した。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養護老人ホーム</td> <td>1 箇所</td> </tr> <tr> <td>病院</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>放射線防護対策施設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	場所	原子力総合防災訓練	平成30年8月25日、26日	京都市、福知山市、 舞鶴市、宮津市、 南丹市、京丹波町、 伊根町	京都府総合防災訓練 原子力災害対応訓練	平成30年9月2日	綾部市	施設名	箇所数	養護老人ホーム	1 箇所	病院	1	放射線防護対策施設	1
	実施日	場所																			
原子力総合防災訓練	平成30年8月25日、26日	京都市、福知山市、 舞鶴市、宮津市、 南丹市、京丹波町、 伊根町																			
京都府総合防災訓練 原子力災害対応訓練	平成30年9月2日	綾部市																			
施設名	箇所数																				
養護老人ホーム	1 箇所																				
病院	1																				
放射線防護対策施設	1																				

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>マルチハザード情報活用促進事業 (災害対策課)</p> <p>総合防災訓練等実施事業 (災害対策課)</p>	<p>(2) 避難路整備調査事業 原子力災害時における避難経路の現地調査及び交通シミュレーションを実施した。</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">254,299,912円 (うち補助金 216,300,220円)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 災害時に府民一人ひとりが自らの安全を確保する行動がとれるよう、ハザード情報を随時更新するとともに、その活用について周知・啓発を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 ハザード情報の活用促進を図った。 指標：地域の災害危険情報の把握や防災マップ作成等に向けた講座の開催回数 目標：50回 実績：40回</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">9,300,000円 (うち委託料 8,903,352円)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 防災関係機関の連携強化や防災意識の高揚を図るため、地震や水害を想定した訓練及び防災教育を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 総合防災訓練 地震及び水害の複合災害の発生を想定し、総合防災訓練を実施した。 実 施 日 平成30年9月2日 場 所 綾部市 参加機関 約80機関 参 加 者 約1,000人</p> <p>(2) 防災教育・啓発 防災に関する知識・技術を体系的・実践的に修得するための出前講座を実施した。 実施回数 23回 参 加 者 1,473人</p> <p>(3) 災害ボランティアセンターの設置・運用研修 現地災害ボランティアセンターの早期設置や活動支援を行える人材育成のための研修を実施した。</p>

			<p>水害等避難行動タイムライン作成支援モデル事業 (防災消防企画課) (災害対策課)</p>	<p>実施回数 14回 参加者 375人</p> <p>3 執行額 5,817,483円 (うち委託料 4,519,668円)</p> <p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨では、避難勧告等の発令が住民の避難行動につながらなかったことから、災害時に早めの避難を促すため、住民主体による水害等避難行動タイムラインの作成を支援し、その普及を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 平成30年7月豪雨被災地の3地区をモデル地区に選定し、学識経験者の指導・助言等を得て、水害等避難行動タイムラインの作成を支援するとともに、他地域のタイムライン作成に活かすため、成果事例集及びDVDを作成した。 取組地域 報恩寺地区(福知山市)、京口地区(舞鶴市)、施福寺地区(綾部市)</p> <p>3 執行額 5,832,000円 (委託料)</p>
<p>2 消防連絡調整費 (P90)</p>	<p>128,342,000 (265,272,000)</p>	<p>126,966,688 (263,213,030) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 1,450,443 一般財源 125,516,245</p>	<p>わがまちの消防団強化・応援事業 (防災消防企画課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 消防団員の確保等、消防団が実施する取組を支援し、安心安全な地域づくりを推進する。 指標：消防団員充足率 目標：100% 実績：89.8% (平成31年4月1日現在)</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 消防団活動活性化支援 消防団員の確保や活動活性化を支援し、各地域における消防団活動の充実強化を推進した。 ア わがまちの消防団強化交付金 内 容 消防団の自主的な取組に対する支援 実 績 55消防団 活用団員数 17,635人 イ 地域防災力総合支援事業 内 容 消防団車両等の整備に対する支援 実 績 6市町 ウ 消防団の裾野拡大の取組 内 容 経験者・女性・大学生等への働きかけによる消防団への加入促進 実 績 消防団員OBの登録 延べ75人 大学生消防防災サークル数 延べ11大学(新規0大学、継続11大学)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
	円	円		<p>(2) 消防団員確保対策 SNSやラジオ、団員募集ポスターの掲示等による消防団加入促進キャンペーンを実施した。</p> <p>(3) ふるさとレスキュー事業 府内中山間地において、災害時などに消防団員等の地域住民が協力し、現地でいち早く人がの救助等を行う「ふるさとレスキュー」の立上げを支援した。</p> <table border="0" data-bbox="1131 400 1579 496"> <tr> <td>取組地域</td> <td>人数</td> </tr> <tr> <td>知井（南丹市）</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>森本（京丹後市）</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">126,966,688円 (うち補助金 125,740,634円)</p>	取組地域	人数	知井（南丹市）	57人	森本（京丹後市）	12
取組地域	人数									
知井（南丹市）	57人									
森本（京丹後市）	12									
<p><b>7 統計調査費</b></p> <p>2 統計費 (P92)</p>	<p>8,000,000 (302,014,000)</p>	<p>7,380,264 (287,730,313)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 7,380,264</p>	<p>統計データ利活用推進事業 (企画統計課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 平成30年4月1日に和歌山県に設置された「統計データ利活用センター」と連携し、社会の情報基盤である統計データの利活用の推進を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 身近な統計データを学習教材にした「統計データ利活用研修」を開催し、統計データ利活用スキルの向上を図るとともに、統計調査員の行動特性分析のためのアンケート調査を実施し、質の高い統計調査員確保の取組を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修開催回数 2回</li> <li>・研修参加者数 30人</li> <li>・アンケート調査対象者数 1,651人</li> </ul> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">7,380,264円 (うち委託料6,744,360円)</p>						